



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.102 (141)

2024. 8. 5

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 原口拓人
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL099(203)0860
FAX099(203)0865
- 印刷 中礼印刷

総会員2564名 (6/15現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



龍門司坂 (始良市)

目次

鹿児島県理学療法士協会 令和5年度事業総括報告 … 2	学術誌「理学療法かごしま」優秀論文賞の受賞について … 56
鹿児島県理学療法士協会 事業報告・計画・収支報告 … 3～31	職能局 保険政策企画部より … 57
新組織体制について … 32	訪問リハビリテーション研究会ステップアップ研修の案内 … 58
役員あいさつ … 33～41	新卒者オリエンテーション開催の報告 … 59
鹿児島県POS連絡協議会 事業報告・収支決算報告 … 42～48	研修報告 専門部より … 60～62
公式LINEアカウント開設のお知らせ … 49	研修報告 学術部より … 63～64
学術誌「理学療法かごしま」投稿論文募集のお知らせ … 49	研修報告 鹿児島・奄美地区より … 65～66
第37回鹿児島県理学療法士学会 報告 … 50～53	研修報告 始良地区より … 67～68
第38回鹿児島県理学療法士学会 お知らせ … 54	私と私の職場 … 69
全スポ国体授賞 … 55	事務局だより・編集後記 … 70

令和5年度 事業総括報告

(公社) 鹿児島県理学療法士協会

会長 平名章二

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し対面での活動を本格的に再開することとなり、会員の皆さんの多くのご支援ご協力のもとで会の運営ができました。まずは会員・役員の活躍に感謝申し上げます。

この1年間はポストコロナ・ウィズコロナが定着し、我々専門職の本分である国民・県民の健康・福祉に寄与するための自己研鑽、職業倫理の高揚と理学療法の学術及び技能の向上活動もようやく対面方式が復活し活気を取り戻し始めたものになりました。4年ぶりの対面での開催となった鹿児島県理学療法士学会では神田勝利学会長の下で多くの参加者があり、相手の表情を見て、緊張感を感じる良き学会となりました。新生涯学習支援システムは担当者の協力もあり何とか軌道に乗ったかと思えます。引き続き会員の研鑽に活用してほしいと思えます。

また社会的活動においては従前の規模で事業を再開しました。コロナ前から会員諸氏が活躍してくれていた地域包括ケアシステムにかかる介護予防・地域活動においては、コロナ制限下の中でも成果を出し高い評価を得ていましたが、やはり我々は対面の場の方が専門性をより強く発揮できるものであり、利用者の方からはさらに高い評価を頂くところとなりました。また昨年度は特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会も開催され、我々の専門性を発揮できるさらなる活動の場によりやくにして恵まれ、職能活動が拡大・実行できるようになりました。スポーツ活動支援と学校保健活動については、行政との連携や各種団体との交流を通じて会員達が理学療法士として健康・予防に寄与することをアピールすることができ、今後の活動拡大により期待が持てるものとなりました。この場を借りて会員諸氏に感謝致します。

地域間活動ではコロナ禍のあおりを引きずるところもありましたが、各地区長はじめリーダーの尽力により会員交流は徐々に復活してきており、会員間での情報交換が活発になってきました。新入会員が地区にて心細い思いをすること無く臨床活動に臨めたのも地区・施設における先輩理学療法士の配慮によるところと思えます。引き続き新入会員や後輩達を施設に留まらず地区・県内での連携へと導いてくれればと思えます。

会長としては、今年も様々な出来事を経験しつつ会員一人一人の地道な活動によりしっかりと県民の健康・保健福祉の向上に寄与することができた1年であったと振り返るところです。毎度申し上げておりますが、当会の活動は学術研鑽と職能、職域の拡大をもって県民医療・福祉に貢献するものであります。令和5年度も滞りなく自己研鑽と知識技術向上を図りつつ事業執行致しましたが、まだまだ伸びしろの多い当会としては今後も県民に対し責任ある医療人として活動するために我々の技術向上・価値向上が重要であり、そのためにも理学療法士の職域拡大・保障は重要な課題と捉えています。同時に「会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与すること」の目標を達成するため、どうぞ会員諸氏の変わらぬ協力をお願いします。

令和5年度に重点課題とした項目

- (1) 新人理学療法士のサポートと生涯学習システムの円滑な運営
- (2) 学術研究、臨床力向上の機会推進
- (3) 地区保健医療・福祉・予防活動の充実・推進
- (4) スポーツ支援活動の推進
- (5) 学校保健・体育活動の支援推進
- (6) 行政各所との協働による職能活動の推進と拡大

令和5年度 事業報告

事業名

I. 公益事業

1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

後援

九州作業療法学会2023in鹿児島
第2回日本老年療法学会学術集会
鹿児島県臨床工学技士会第23回心電図セミナー
日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会
鹿児島県リハ施設協議会創立20周年記念事業リハビリテーションフェスティバルかごしま
南九州ME研究会第13回呼吸療法セミナー
快護生活フェス！福祉機器展&セミナーinかごしま
鹿児島県がん診療連携拠点病院機能強化事業 市民公開講座
第37回鹿児島リハビリテーション医学研究会
2023年度鹿児島高次脳機能研究会
第7回日本産業理学療法研究会学術大会

委員の派遣

令和5年度鹿児島市介護給付適正化事業に係る指導者3名
令和5年度鹿児島市在宅医療・介護の連携検討会議
鹿児島市在宅医療・介護の連携推進協議会委員推薦
日置市地域包括支援センター運営協議会委員
県高齢者保健福祉計画作成委員会地域医療介護総合確保基金(介護分)部会
県高齢者保健福祉計画作成委員会
介護ロボット普及に関する連絡会
第13回口腔機能管理推進協議会
鹿児島県介護実習普及センター運営協議会
介護認定審査会委員(薩摩川内市3 曾於地区3 鹿児島市17 始良伊佐地区6
南薩介護保険事務組合9 北薩広域行政事務組合6 さつま町1
指宿市3 日置市7 大隅肝属広域事務組合8 奄美7)
障害支援区認定審査委員(鹿児島市3 始良伊佐地区2 北薩広域行政事務組合1
大隅肝属広域事務組合2 日置市2)
南学園教育課程編成委員会
原田学園学校関係者評価委員会委員・教育課程編成委員会委員

講師派遣

ティーボール大会サポート PT3名
第11回すこやか長寿まつり ねんりんステージ
国体高等学校野球(軟式)競技会コンディショニングサポート PT延23名
国体高等学校野球(公式)競技会コンディショニングサポート PT延26名
全国障がい者スポーツ大会サポート事業 PT延103名
第31回鹿児島県国保地域医療学会 パネリスト
第13回呼吸療法セミナー
健康安全運転講座(株式会社ダイハツ) PT3名
鹿児島県リハ施設協議会主催 リハビリテーションフェスティバル
鹿児島市在宅医療と介護の連携推進事業令和5年度多職種連携会議
城西中・伊敷中合同サッカークリニックサポート PT5名
第2回鹿児島宮崎県選抜チーム交流試合
高校野球肩・肘検診事業(全4回) PT延105名
生活協同組合コープかごしま学習会
薩摩おいどんカップにおける講習会
鹿児島マラソン2023ボランティア派遣 PT17名
介護予防教室(介護実習普及センター) PT延10名

委託契約

十島村 運動機能向上教室

鹿児島市社会福祉協議会 鹿児島市地域活動支援センターゆうあい館理学療法士派遣業務委託
十島村保健事業と介護予防事業との一体的な実施を踏まえた高齢者の保健事業

(障がい児・者福祉部)

令和5年度発達サポート研修会

① 開催日：令和5年8月3日(木) 10:00~11:30

テーマ：子どもの体幹と、体づくり運動

講師：小牧隼人PT

形式：ハイブリッド開催(対面+オンライン)

対象：県内の小学校教諭、特別支援教諭、子どもの発達に興味のある方、その他

参加者：対面28名+オンライン参加63端末(1端末から複数人参加を含む)

② 開催日：令和5年11月26日(土) 10:00~11:30

令和5年12月3日(日) 10:00~11:30 ビデオ開催(録画放送)

テーマ：子どもの行動と感覚

講師：下島千恵 PT

形式：オンライン開催(Zoom)

対象：県内の保育・幼稚園関係者、療育関係者、保護者等

参加者：11/26 65端末 12/3 37端末 合計102端末(1端末から複数人参加を含む)

部会 年3回開催

(高齢者福祉部)

介護技術伝達講習会

日時：令和5年11月25日 13:00~16:00

開催場所：対面形式(始良公民館)

講習会内容：移乗介助と福祉用具使用法

参加者：9名

部会 2回開催

鹿児島県社会福祉協議会 介護技術講習会への講師派遣協力

(保険部・渉外部)

トリプル改定研修会

日時：令和5年8月30日

会場：かごしま県民交流センター

講師：衆議院議員宮路拓馬先生・参議院議員田中昌史先生 参加者65名

(医療保険部)

① 診療報酬関連法令の情報収集

② 診療報酬関連法令に関する会員からの問い合わせ、相談への対応

・問い合わせ件数：上半期0件 下半期1件

・問い合わせ内容：疾患別リハビリテーションにおける初期加算に関するもの

③ R6年度診療報酬改定に関する情報収集

R6年3月16日(土) 令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定説明会へ参加

(介護保険部)

① 介護保険・報酬制度に関する適正な解釈について情報を収集する

② 介護保険制度並びに報酬制度に関する問い合わせに対し、メールで受付け、情報収集をして現状での参考回答を返信する

・問い合わせ件数：上半期1件 下半期1件

・問い合わせ内容：訪問リハ指定訪問リハビリ事業所のBCP策定について
障害福祉サービス事業所でのPTの喀痰吸引について

- ③ 研修会及び「介護保険等に係る市町村等説明会」への参加
2/21 令和6年度介護報酬改定研修会
2/27 鹿児島県介護老人保健施設大会参加
3/16 令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定説明会参加

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

地域リハビリテーション活動、地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化（ネットワークの構築）

(始良地区)

第1回 始良地区研修会 (Web開催)

日時：令和5年9月22日(金) 19:00～21:00

テーマ：膝関節の可動域制限における知識と治療展開

講師：白元勇次郎 PT 参加者：98名

第2回 始良地区研修会 (Web開催)

日時：令和5年11月22日(水) 19:00～21:00

テーマ：高齢者の健康に対する関連因子と地域で実践すべき対策

講師：福榮竜也PT 参加者：72名

第3回 始良地区研修会 (Web開催)

日時：令和6年3月8日(金) 19:15～21:00

テーマ：呼吸器疾患に対する理学療法展開

講師：永田健二PT 参加者：50名

第1回 始良地区症例検討会 (Web開催)

日時：令和6年3月8日(金) 18:30～19:10 参加者：名45名

地区会議・運営打ち合わせ6回開催

(北薩地区)

第1回 研修会

令和5年11月15日(水) 18:30～20:30 開催方法：Web開催研修会

テーマ：Trailing limb Angle (TLA)についての論文紹介とTLAの重要性に基づく歩行の
治療アプローチの検討

講師：鈴木伸洋PT 参加者数：74名

第2回 研修会

令和5年12月20日(水) 18:30～20:30 開催方法：Web開催研修会

テーマ：親の質問からひも解く、子どもの発達と理学療法

講師：後谷郁乃PT 参加者数：74名

第1回 症例検討会

令和6年2月7日(水) 18:30～19:30

「内部障害」 2演題発表 ①参加者79名 ②参加者78名

地区会議2回

(鹿児島地区)

第1回 鹿児島地区研修会

日時：令和5年12月15日(金) 19:00～20:30

会場：天陽会 中央クリニック

テーマ：心不全に対する理学療法

講師：加治屋千晶PT 参加人数：36名

第2回 鹿児島地区研修会

日時：令和6年1月12日(金) 19:00～20:30

会場：鹿児島医療技術専門学校

テーマ：変形性関節症に対する理学療法評価・治療のPoint

講師：原田太樹PT 参加人数：21名

第3回 鹿児島地区研修会

日 時：令和6年2月10日（金） 10:00～12:00

場 所：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：FIMの評価方法と知っておきたい基礎知識

講 師：純浦 葵PT 参加人数：20名

第1回	症例検討会	11/17	19:00～	Web開催	神経系	参加人数：43名
第2回	症例検討会	11/24	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：30名
第3回	症例検討会	12/1	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：38名
第4回	症例検討会	12/22	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：27名
第5回	症例検討会	1/19	19:00～	Web開催	神経系	参加人数：40名
第6回	症例検討会	1/26	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：31名
第7回	症例検討会	2/16	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：25名
第8回	症例検討会	3/19	19:00～	Web開催	運動器系	参加人数：23名

地区リーダー会議1回開催

(大隅地区)

第1回大隅地区研修会

開催日時：7月21日（金）18:30～19:30 開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：地域リハビリテーション事業の取り組み

講 師：神田勝利PT 参加人数：52名

第2回大隅地区研修会

開催日時：9月15日（金）18:30～19:30

開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：脳卒中片麻痺の歩行訓練：機能障害の制約がある中で上手に歩かせるには

講 師：上間智博PT 参加人数：62名

第3回大隅地区研修会

開催日時：12月8日（金）18:30～19:30 開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：アスレチックリハビリテーションで役立つ競技復帰に向けたトレーニング指導の理論と実践

講 師：中畑敏秀PT 参加人数：55名

第1回大隅症例検討会

開催日時：11月9日（金）18:30～20:00 開催場所：Web開催（zoom）

演題① 神経系 演題② 内部障害系 演題③ 運動器系 参加人数：38名

地区会議4回開催

(南薩地区)

第1回 南薩地区研修会（Web開催（ZOOMにて））

日 時：令和5年7月13日（木曜日） 19:00～20:00

テーマ：仙腸関節障害の理学療法

講 師：矢山 勉PT 参加人数：42名

第2回 南薩地区研修会（Web開催（ZOOMにて））

日 時：令和5年9月20日（水曜日） 19:00～20:00

テーマ：患者さんの診方

講 師：橋木康二PT 参加人数：29名

第3回 南薩地区研修会（Web開催（ZOOMにて））

日 時：令和5年10月27日（金曜日） 19:00～20:00

テーマ：脳卒中と装具療法

講 師：瀧上祐一PT 参加人数：55名

第4回 南薩地区研修会（Web開催（ZOOMにて））

日 時：令和5年11月28日（火曜日） 19:00～20:00

テーマ：リハ栄養について

講 師：西元友喜PT 参加人数：48名

第5回 南薩地区研修会 (Web開催(ZOOMにて))

日 時：令和5年12月14日(木曜日) 19:00~20:00

テーマ：総合事業について

講 師：小野 恵PT 参加人数：47名

第6回 南薩地区研修会 (Web開催(ZOOMにて))

日 時：令和6年1月18日(木曜日) 19:00~20:00

テーマ：変形性膝関節症の歩行観察

講 師：有馬直也PT 参加人数：46名

第1回	症例検討会	7/13	20:10~	Web開催	運動器系	参加人数：42名
第2回	症例検討会	9/20	20:10~	Web開催	内部障害系	参加人数：51名
第3回	症例検討会	10/27	20:10~	Web開催	神経系	参加人数：49名
第4回	症例検討会	11/28	20:10~	Web開催	運動器系	参加人数：35名
第5回	症例検討会	12/14	20:10~	Web開催	運動器系	参加人数：37名
第6回	症例検討会	1/18	20:10~	Web開催	神経系	参加人数：32名

地区会議5回開催

(奄美地区)

第1回奄美地区研修会

令和6年3月2日(土曜日) 14:00~17:00

会 場：デイサービス和月龍郷

テーマ：脳卒中患者に対する日常生活動作の治療介入について

講 師：東 幸太PT

参加人数：対面式14名 Web式3名 計17名

(学術部)

第1回研修会

日 時：令和5年7月23日(日) 9:30~16:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：運動器疾患における歩行障害の評価と治療 -股関節障害を中心に-

講 師：建内 宏重 先生(京都大学大学院医研究科) 参加者：58名

第2回研修会

日 時：令和5年8月20日(日) 9:30~12:50

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：臨床研究の進め方

講 師：榊間 春利PT 牧迫 飛雄馬 PT大渡 昭彦PT 参加者：38名

第3回研修会

日 時：令和5年10月15日(日) 9:30~12:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：前庭機能に着目したリハビリテーション介入

～末梢前庭障害、中枢神経疾患を中心に～

講 師：塩崎 智之 先生(奈良県立医科大学) 参加者：51名

第4回研修会

日 時：令和5年12月17日(日) 9:30~16:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：脳卒中に対する歩行トレーニング 基礎から実際

講 師：大畑光司 先生(北陸大学) 参加者：60名

第5回研修会

日 時：令和6年1月28日(日) 9:30~16:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：腰痛に対する理学療法

講 師：成田 崇矢 先生(桐蔭横浜大学) 参加者：129名

(学術資料部)

学術部主催研修会において、Zoomのレコード機能を利用して録画し、研修会終了後に3週間限定でオンデマンド配信を行った(第1～4回研修会、第5回研修会は講師より許諾を得ることができなかつたため非実施)。

希望者 第1回：5名 第2回：4名 第3回：10名 第4回：4名

(第37回鹿児島県理学療法士学会)

令和6年2月23日(金)

会場：第一幼児教育短期大学

参加者：388名(対面：会員208名 非会員2名 学生12名 合計222名、ウェブ：会員166名)

特別講演「卒前・卒後教育や新生涯学習システムについて」

日本理学療法士協会 白石 浩 先生

トピックス「これからの理学療法教育に求められること」

日本理学療法士協会 田中 まさし 先生

シンポジウム「臨床実習教育について」

大渡 昭彦PT 高江 陽子PT 横山 尚宏PT 吉田 治正PT 田川 知恵子PT

一般演題 33演題(口述12演題 ポスター21演題) 後期研修症例検討会 5演題

(専門領域研究部)

生活環境系1回、小児系1回、呼吸器系1回、神経系1回、循環器系1回、運動器系2回、トピックス系1回全研修会を対面にて実施。

生活環境系)

日時：令和5年9月10日(日) 9:00～12:10

会場：いづろ今村病院

テーマ：ポジショニング

講師：原口鈴香PT 参加者：15名

小児系)

日時：令和6年2月4日(日) 9:00～12:10

会場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：臨床に役立つ小児発達評価と理学療法

講師：竹田孝幸PT 参加者：10名

呼吸器系)

日時：令和5年12月10日(日) 9:00～12:20

会場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：呼吸器のフィジカルアセスメントと排痰

講師：坂元将也PT 吉野徹PT 参加者：26名

神経系)

日時：令和5年11月19日(日) 9:00～12:10

会場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：脳卒中理学療法のマネジメント

～認定理学療法士として学んだ脳画像、装具療法を中心に～

講師：松尾悟史PT 参加者：26名

循環器系)

日時：令和6年1月7日(日) 9:00～12:10

会場：鹿児島大学医学部保健学科

テーマ：心不全の理学療法一病態、アセスメント、理学療法介入まで

講師：中尾周平PT 野島丈史PT 吉野徹PT 参加者：28名

運動器系)

日時：令和5年6月11日(日) 9:00～12:10

会場：鹿児島大学医学部保健学科

テーマ：頸部一肩甲帯の触診と評価・治療展開

講師：白尾泰宏PT 参加者：17名

日 時：令和 5 年 10 月 1 日（日）9:00～12:10
 会 場：今村総合病院
 テーマ：腰部一骨盤帯・膝関節の触診と評価・治療展開
 講 師：白尾泰宏PT 参加者：21名

トピックス系)

日 時：令和 6 年 2 月 18 日（日）9:00～12:10
 会 場：神村学園専修学校
 テーマ：理学療法評価ブラッシュアップ
 講 師：寺師拓斗PT 参加者：6名

部会 8 回開催

(スポーツ活動支援委員会)

ティーボール大会サポート現地打ち合わせ会議 2 回

全スポ運営事前視察 2 回

場所：白波スタジアム、いちき串木野市総合体育館・国分運動公園陸上競技場 PT 延べ 2 名

全スポコンディショニンググループ運営・配置に関する会議 3 回

神奈川県高校野球サポート視察

7/21-22 会場：横浜スタジアム、横浜市スポーツ医科学センター PT 2 名

普通救命講習会の開催

6/25 会場：ちゅうざん整形外科

講師：消防団救急救命士 参加者 12 名

全国障がい者スポーツ大会事前研修会（座学）

7/27 19:00～21:00 松田史代PT 白元勇次郎PT 竹内直人PT 参加者 48 名

7/30 19:00～21:00 松田史代PT 白元勇次郎PT 竹内直人PT 参加者 12 名

全国障がい者スポーツ大会事前研修会（実技）

8/27 9:00～12:00 会場：鹿児島第一医療リハ 白元勇次郎PT 参加者 5 名

8/31 9:00～12:00 会場：鹿児島大学 白元勇次郎PT 参加者 18 名

かごしま国体高校野球サポート事前研修会（コンディショニング、テーピング等）

8/27 14:00～17:00 会場：南学園 轟原与織PT 牛ノ濱政喜PT 参加者：21 名

高校野球肩・肘検診事前研修会

1/13 15:00～18:10 会場：南学園 5 階講堂 吉田研吾PT 参加者：30 名

1/14 9:00～12:10 会場：南学園 5 階講堂 吉田研吾PT 参加者：43 名

(研究助成委員会)

研究助成の公募・受理・採否の決定、収支報告書等の確認

令和 5 年度 3 件申請あり、3 件採択

令和 6 年度分の助成公募受付

会議 6 回開催

3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法の資質向上に寄与する事業

(生涯学習部)

新卒者オリエンテーション

令和 5 年 4 月 16 日（日）ハイブリッド開催

会 場：鹿児島大学

09:30～09:45 会長挨拶

09:45～10:15 倫理

10:15～10:45 理学療法連盟政策

10:45～11:00 協会入会案内

参加者：103 名（対面 58 名 オンライン 45 名）

(前期研修)

2023 年 5 月 28 日（日）対面開催

会場：鹿児島医療福祉専門学校

A-1：職業と倫理

参加者 23 名

A-2：協会組織

参加者 23 名

A-3：人間関係および接遇

参加者 23 名

A-4：理学療法における関連法規

参加者 23 名

2023年 6月25日 (日) オンライン開催	配信場所：鹿児島医療福祉専門学校	
A-4：理学療法における関連法規		参加者69名
A-3：人間関係および接遇		参加者70名
A-2：協会組織		参加者70名
A-1：職業と倫理		参加者70名
2023年 7月23日 (日) 対面開催	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
A-5：理学療法における情報管理		参加者25名
A-6：生涯学習において		参加者25名
2023年 8月27日 (日) オンライン開催	配信場所：鹿児島医療福祉専門学校	
A-6：生涯学習において		参加者63名
A-5：理学療法における情報管理		参加者63名
(新人教育プログラム 後期研修)		
2023年 9月23日 (土) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
C-1：神経系理学療法学①	脳血管障害の理学療法 I、II	参加者10名
C-1：神経系理学療法学②	神経変性疾患の理学療法 I、II	参加者10名
2023年 9月24日 (日) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
A-1：理学療法診断学①		参加者 7名
A-2：理学療法診断学②		参加者 7名
A-3：画像診断学		参加者 7名
2023年10月21日 (土) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
C-2：運動器系理学療法学①	外傷性・変形性疾患の理学療法 I、II	参加者 5名
C-2：運動器系理学療法学②	スポーツ障害の理学療法 I、II	参加者 5名
2023年10月22日 (日) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
B-1：臨床疫学 I、II		参加者 2名
B-2：文献検索演習		参加者 2名
2023年11月25日 (土) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
C-3：内部障害理学療法学①	呼吸器疾患の理学療法 I、II	参加者 9名
C-3：内部障害理学療法学②	循環器疾患の理学療法 I、II	参加者 9名
2023年11月26日 (日) 対面開催 (動画放映)	会場：鹿児島医療福祉専門学校	
C-4：病期別理学療法学①	老年期障害の理学療法	参加者 9名
C-4：病期別理学療法学②	生活期の理学療法	参加者 9名
C-4：病期別理学療法学③	終末期の理学療法	参加者 9名

(臨床教育支援推進委員会)

鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会協議会と連携して、2回の鹿児島県臨床実習指導者講習会を開催、91名が修了(修了者数合計は1205名)。

臨床実習施設認定制度を新指定規則に沿って改定された制度の認定作業
(新制度下9施設登録)。

4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(編集部)

編集部会 3回開催

機関誌の発行

第1回 (No. 98)	令和5年6月5日発行	(冊子・WEB版)
第2回 (No. 99)	令和5年9月4日発行	(冊子・WEB版)
第3回 (No. 100)	令和5年11月27日発行	(冊子・WEB版)
第4回 (No. 101)	令和6年2月26日発行	(冊子・WEB版)

II. その他の事業

1. 会員の福利厚生に関する事業

(福利厚生部)

会員向け写真コンテストの企画・開催

- ・県士会ホームページ、協会ニュース、県士会LINEにて案内
- ・応募期間：令和4年8月1日～令和6年1月31日
- ・応募数：5点
- ・最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作2点を決定し表彰した。

III. 管理費

(総務部)

会員との連絡及び郵送物の発送、会員管理（会員入退会及び異動等の手続き及び管理）、日本理学療法士協会との連携、会議議事録の作成、整理及び保管業務、文書の收受、発行及び管理に関する業務、公印の管理に関する業務、刊行物の発送、整理、保管に関する業務、公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理

関連団体との提携および共催・後援依頼の回答、規約の改正、各部との連携

代議員総会の実施 2022年度決算総会6/24（会場：鹿児島大学・ウェブ）、2024年度予算総会3/15（ウェブ）

2023年度入会者146名 退会者95名（任意退会 59名、未納退会者20名、休会経過退会16名）
在会会員数 2558名（休会会員504名は含めず）（2024/3/31現在）

(財務部)

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費徴収業務、予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行・支払等、出納帳管理、会計監査、委託会計事務所と連絡
2023年度年会費 2674名納入（既会員2524名 新入会員150名（うち1名は2022年度分未収金）
未納退会者20名

(理事会)

- | | | |
|-----|-------|---|
| 第1回 | 4/12 | ①令和4年度(決算)総会日程について ②生涯学習制度について ③臨床実習施設認証制度 申請施設の審議について ④委員会の設定について ⑤補正予算について ⑥業務執行状況報告 |
| 第2回 | 5/19 | ①次年度組織図改定案について ②第37回鹿児島県理学療法学会 運営会議について ③2022年度事業報告の承認について ④2022年度決算報告の承認について ⑤監査報告について ⑥業務執行状況報告 |
| 第3回 | 6/14 | ①第2回協会ニュース日程変更について ②学術部研修会参加費について ③第37回鹿児島県理学療法士学会 ①PR動画作成申請について ②ポスター作成について ④業務執行状況報告 |
| 第4回 | 6/24 | ①役員選挙における当選証書交付について ②会長(代表理事)及び副会長の選出について ③役員の委嘱状交付について |
| 第5回 | 7/12 | ①弁護士への定期契約について ②学術研修会の参加費について ③業務執行状況報告 |
| 第6回 | 8/9 | ①臨床教育支援推進委員会 委員選任について ②研修会・症例検討会開催方針について ③8月30日トリプル改定に向けた研修会について ④国体・全スポの現状報告と運営に関する審議事項について ⑤旅費及び諸手当の支給規則の変更について ⑥業務執行状況報告 |
| 第7回 | 9/13 | ①研修会参加条件に関する内規修正案について ②第37回県学会演題募集期間延長について ③令和5年度研究助成の採択について ④学術研修会の参加費について ⑤専門領域研究部研修会の追加 ⑥規約見直し ⑦業務執行状況報告 |
| 第8回 | 10/11 | ①旅費及び諸手当支給規則について ②ハラスメントの防止等に関する規則 ③新組織図について ④特別企画研修会について ⑤学会運営会場におけるZOOM回線の契約について ⑥補正予算案の修正 ⑦業務執行状況報告 |

- 第9回 11/8 ①令和6年度の研究助成の募集について ②旅費及び諸手当支給規則再審議について ③申請書 押印廃止について ④業務執行状況報告
- 第10回 12/13 ①スポーツ活動支援委員会追加事業の承認の可否について ②スポーツ活動支援委員会追加事業(鹿児島マラソン)の承認の可否について ③令和8年度 公開講座 看護・介護向け動作介助研修会の日程について ④スポーツ活動支援委員会追加事業(高校野球肩肘検診・薩摩おいどんカップ)の承認の可否について ⑤申請書 押印廃止について(継続審議) ⑥「定款」、「定款細則」、「職務権限規程」見直しについて ⑦研究助成規程について ⑧業務執行状況報告
- 第11回 1/10 ①JPTA代議員選挙 選挙管理運営委員会 web会議報告及び 鹿児島県理学療法士協会 代議員選挙告示に関して ②経理規程について ③旅費支給規程及び謝金の支払い基準に関する規程について ④第37回鹿児島県理学療法士学会 準備進捗状況 ⑤業務執行状況報告
- 第12回 2/14 ①第38回鹿児島県理学療法士学会学会長選任について ②新組織図について ③2024年度事業計画・予算の承認について ④総会開催について ⑤次年度学術部研修会 開催形式の変更について(対面+オンデマンド) ⑥謝金の支払い基準に関する規程について ⑦弔慰金及び見舞金等の支給に関する規程について ⑧定款細則変更について ⑨第37回県学会検討事項について ⑩他団体からの広報依頼に対する内規について ⑪令和6年度研究助成の延長について ⑫理学療法かごしま優秀賞ならびに予算について ⑬令和5年度補正予算について ⑭業務執行状況報告
- 第13回 3/13 ①代議員についての報告・承認について ②定款変更案について(理事定数変更) ③鹿児島高校野球選手肩肘検診の医師の報酬について ④鹿児島高校野球選手肩肘検診での部長以外の報酬について ⑤薩摩おいどんカップ研修会報告と鹿児島マラソンについて ⑥優秀賞授与式と理学療法かごしま査読委員の協会HP掲載について ⑦理事会運営規程について ⑧名誉会員規程について ⑨規程等の基準に関する規則について ⑩業務執行状況報告
- 関係団体との各種会議への出席
日本理学療法士協会との各種会議への参加
九州ブロック各種会議への参加

(選挙管理委員会)

・JPTA代議員選挙

代議員運営委員会会議出席(WEB会議)

令和6年1月JPTA代議員選挙告示 2月立候補者受付、候補者選定

3月候補者確定及び協会からの推薦者選定

・鹿児島県理学療法士協会 代議員選挙

令和5年12月選挙告示・システム管理

令和6年1月立候補受付、結果報告、2月 不足代議員推薦、3月 候補者確定

(政策検討委員会)

委託事業(リーダー塾の開催)

6/16 第15回「政治参画と女性のヘルスリテラシー」 37名

薬剤師 丸田沙生氏・愛下由香里PT・宮路拓馬氏

9/24 第16回「私たちを取り巻く環境と資産形成の基本」 24名

瀬筒愛奈氏 (鹿児島銀行 金融資産コンサルティング部)

12/14 第17回「多職種連携と人材育成」 37名 鈴東伸洋PT

会議 年2回開催

リハビリテーションを考える議員連盟 総会参加

日本理学療法士連盟 研修会・総会 参加

(規約審議委員会)

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会規定集見直し

年8回会議開催

新組織図を元に規定集の見直し、次年度規程集の発行予定

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,031,532	39,627,208	△ 10,595,676
未収会費	52,000		52,000
未収金	1,645,250		1,645,250
仮払金	189,410	0	189,410
流動資産合計	30,918,192	39,627,208	△ 8,709,016
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,218,989	4,218,989	0
事務局開設積立資産	14,713,751	14,713,751	0
特定資産合計	18,932,740	18,932,740	0
(3) その他固定資産			
什器備品	3,672,575	3,324,975	347,600
減価償却累計額	△ 3,311,984	△ 3,030,070	△ 281,914
電話加入権	72,618	72,618	0
ソフトウェア	382,800	510,400	△ 127,600
その他固定資産合計	816,009	877,923	△ 61,914
固定資産合計	19,748,749	19,810,663	△ 61,914
資産合計	50,666,941	59,437,871	△ 8,770,930
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	330,790	0	330,790
前受金	16,155,000	16,452,000	△ 297,000
預り金	633,933	187,200	446,733
流動負債合計	17,119,723	16,639,200	480,523
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,099,387	2,099,387	0
固定負債合計	2,099,387	2,099,387	0
負債合計	19,219,110	18,738,587	480,523
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産合計	1,458,693	1,458,693	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(1,458,547)	(1,458,547)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	29,989,138	39,240,591	△ 9,251,453
(うち特定資産への充当額)	(15,374,806)	(15,374,806)	(0)
正味財産合計	31,447,831	40,699,284	△ 9,251,453
負債及び正味財産合計	50,666,941	59,437,871	△ 8,770,930

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	229	221	8
特定資産運用益計	229	221	8
受取入会金			
新人会員入会金	750,000	755,000	△ 5,000
受取入会金計	750,000	755,000	△ 5,000
受取会費			
正会員受取会費	22,716,000	23,112,000	△ 396,000
賛助会員受取会費	110,000		110,000
新人会員会費	1,350,000	1,359,000	△ 9,000
受取会費計	24,176,000	24,471,000	△ 295,000
事業収益			
事業収益	0	108,561	△ 108,561
受託事業収益	2,660,504	498,000	2,162,504
研修会参加料収益	801,610	214,000	587,610
事業収益計	3,462,114	820,561	2,641,553
受取補助金等			
受取民間助成金	2,356,100	2,488,800	△ 132,700
受取補助金等計	2,356,100	2,488,800	△ 132,700
雑収益			
受取利息	354	366	△ 12
雑収益	22,401	92,002	△ 69,601
雑収益計	22,755	92,368	△ 69,613
経常収益計	30,767,198	28,627,950	2,139,248
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	8,174,370	4,617,140	3,557,230
退職給付費用	163,200	163,200	0
福利厚生費	1,183,573	890,074	293,499
旅費交通費	1,178,535	120,985	1,057,550
通信運搬費	1,098,965	906,523	192,442
減価償却費	286,660	253,995	32,665
消耗什器備品費	99,880	174,570	△ 74,690
消耗品費	369,830	80,084	289,746
修繕費	55,000	97,900	△ 42,900
印刷製本費	2,731,206	1,914,617	816,589
会議費	759,745	771,479	△ 11,734
光熱水料費	76,626	52,366	24,260
賃借料	534,176	426,461	107,715
諸謝金	1,901,955	2,380,682	△ 478,727
支払負担金	1,267,200	1,322,400	△ 55,200
支払助成金	290,990		290,990
会場費	748,400	133,984	614,416
会場設営費	2,625,260	1,194,490	1,430,770
研修費	30,000		30,000
図書費	22,070	20,816	1,254
報酬費	3,053,808		3,053,808
事業費計	26,651,449	15,521,766	11,129,683
管理費			
役員報酬	1,170,000	1,290,000	△ 120,000
給料手当	6,674,757	5,583,110	1,091,647
退職給付費用	124,800	124,800	0
福利厚生費	1,010,737	622,616	388,121
会議費	2,643	66,079	△ 63,436
旅費交通費	428,859	7,650	421,209
通信運搬費	379,527	456,351	△ 76,824
交際費	190,000	4,461	185,539
減価償却費	122,854	108,856	13,998
消耗什器備品費	116,874	23,100	93,774
消耗品費	226,601	50,998	175,603
修繕費	302,022	23,100	278,922

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
印刷製本費	54,698	59,350	△ 4,652
光熱水料費	99,287	87,229	12,058
賃借料	364,224	358,863	5,361
保険料	36,100	36,100	0
租税公課	25,813	23,100	2,713
支払負担金	500,000	50,000	450,000
支払手数料	282,110	140,693	141,417
報酬費	222,970		222,970
会場費		28,996	△ 28,996
委託料	1,022,448	1,023,050	△ 602
消耗備品費	9,878		9,878
管理費計	13,367,202	10,168,502	3,198,700
経常費用計	40,018,651	25,690,268	14,328,383
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,251,453	2,937,682	△ 12,189,135
当期経常増減額	△ 9,251,453	2,937,682	△ 12,189,135
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 9,251,453	2,937,682	△ 12,189,135
一般正味財産期首残高	39,240,591	36,302,909	2,937,682
一般正味財産期末残高	29,989,138	39,240,591	△ 9,251,453
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産期末残高	1,458,693	1,458,693	0
III 正味財産期末残高	31,447,831	40,699,284	△ 9,251,453

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る事業	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益				
特定資産受取利息			229	229
特定資産運用益計			229	229
受取入会金				
新人会員入会金	375,000	31,850	343,150	750,000
受取入会金計	375,000	31,850	343,150	750,000
受取会費				
正会員受取会費	11,358,000		11,358,000	22,716,000
賛助会員受取会費	110,000			110,000
新人会員会費	675,000		675,000	1,350,000
受取会費計	12,143,000		12,033,000	24,176,000
事業収益				
受託事業収益	2,660,504			2,660,504
研修会参加料収益	801,610			801,610
事業収益計	3,462,114			3,462,114
受取補助金等				
受取民間助成金	2,356,100			2,356,100
受取補助金等計	2,356,100			2,356,100
雑収益				
受取利息	354			354
雑収益	22,401			22,401
雑収益計	22,755			22,755
経常収益計	18,358,969	31,850	12,376,379	30,767,198
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	8,174,370			8,174,370
退職給付費用	163,200			163,200
福利厚生費	1,153,573	30,000		1,183,573
旅費交通費	1,178,535			1,178,535
通信運搬費	1,097,115	1,850		1,098,965

(単位:円)

科目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る事業	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合計
減価償却費	286,660			286,660
消耗什器備品費	99,880			99,880
消耗品費	369,830			369,830
修繕費	55,000			55,000
印刷製本費	2,731,206			2,731,206
会議費	759,745			759,745
光熱水料費	76,626			76,626
賃借料	534,176			534,176
諸謝金	1,901,955			1,901,955
支払負担金	1,267,200			1,267,200
支払助成金	290,990			290,990
会場費	748,400			748,400
会場設営費	2,625,260			2,625,260
研修費	30,000			30,000
図書費	22,070			22,070
報酬費	3,053,808			3,053,808
事業費計	26,619,599	31,850		26,651,449
管理費				
役員報酬			1,170,000	1,170,000
給料手当			6,674,757	6,674,757
退職給付費用			124,800	124,800
福利厚生費			1,010,737	1,010,737
会議費			2,643	2,643
旅費交通費			428,859	428,859
通信運搬費			379,527	379,527
交際費			190,000	190,000
減価償却費			122,854	122,854
消耗什器備品費			116,874	116,874
消耗品費			226,601	226,601
修繕費			302,022	302,022
印刷製本費			54,698	54,698
光熱水料費			99,287	99,287
賃借料			364,224	364,224
保険料			36,100	36,100
租税公課			25,813	25,813
支払負担金			500,000	500,000
支払手数料			282,110	282,110
報酬費			222,970	222,970
委託料			1,022,448	1,022,448
消耗備品費			9,878	9,878
管理費計			13,367,202	13,367,202
経常費用計	26,619,599	31,850	13,367,202	40,018,651
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,260,630	0	△ 990,823	△ 9,251,453
当期経常増減額	△ 8,260,630	0	△ 990,823	△ 9,251,453
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 8,260,630	0	△ 990,823	△ 9,251,453
当期一般正味財産増減額	△ 8,260,630	0	△ 990,823	△ 9,251,453
一般正味財産期首残高	2,346,097	1,112,176	35,782,318	39,240,591
一般正味財産期末残高	△ 5,914,533	1,112,176	34,791,495	29,989,138
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高			1,458,693	1,458,693
指定正味財産期末残高			1,458,693	1,458,693
III 正味財産期末残高	△ 5,914,533	1,112,176	36,250,188	31,447,831

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法
什器備品については、定率法による減価償却を実施している。
ソフトウェアについては、定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲
資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、未払金、前受金及び預り金を含む。

(6) 消費税等の会計処理
該当なし。

3 会計方針の変更

平成22年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。
なお、当該変更が財務諸表に与える影響はない。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	4,218,989			4,218,989
事務局開設積立資産	14,713,751			14,713,751
合計	18,932,740	0	0	18,932,740

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,218,989	—	(2,119,602)	(2,099,387)
事務局開設積立資産	14,713,751	(1,458,693)	(13,255,058)	—
合計	18,932,740	(1,458,693)	(15,374,660)	(2,099,387)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,672,575	3,311,984	360,591
合計	3,672,575	3,311,984	360,591

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細書

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産					
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店	4,218,989			4,218,989
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店	14,713,751			14,713,751
計		18,932,740	0	0	18,932,740

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当資産	2,099,387	0	0	0	2,099,387

令和 5 年 12 月 4 日

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

会長 平名 章二 殿

監事 村山 芳博

監事 赤崎 昭朗

監査報告書の提出について

私たち監事は、法人法 99 条 1 項、197 条の規定に基づき監査報告書を作成いたしましたので、別紙のとおり提出いたします。

監査報告書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和5年11月30日までの理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事および関係者等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事および関係者等から、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び会計の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、上半期事業年度に係る事業状況と規程等について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①理事会で報告された事業報告書は、法令および定款に従い、協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書等の監査報告

決算関係において経理規程(物品購入等の契約に関する事項)に準ぜず物品の購入及び契約を行っているものが多々見られます。今後は規程に基づき適正に処理するよう求めます。

(3) 規程について

最新の協会の業務状況に合わせた規程等の見直しを早急にご検討頂くよう求めます。
検討した規程等は、別紙参照

3. 監事の意見

- (1) 規約審議会等で規程の改定について検討されてはいますが、現状として業務状況に合わないところがあるようです。早急に見直しを行い、規程に準じ適正に業務を遂行できるようご検討ください。また協会は、就業規則等の現在提出義務はありませんが、公益法人として労働基準に関する法制度に基づいた規程のすみやかな制定と見直しを行ってください。
- (2) 事業報告書等を確認し、法令及び定款に従った活動実績を認めます。また、法令・定款に違反する事実はありませんでした。決算関係において、経理規程に則らない物品購入及び契約を確認し是正を求めています。別紙1にある規定等で見直しを予定している規定に関しては、業務の滞りが無いよう早急に検討をお願い致します。

令和5年11月30日

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

監事 村山 芳博



監事 赤崎 昭朗



別紙 1

検討した規程等について規約審議会等でご検討ください。

① 改廃の確認

- ・定款、細則(職務権限規程含む)、役員報酬規程、選挙規程、総会運営規程の改廃は、理事会の議決を経て総会の承認が必要
- ・その他は理事会で承認

② 見直しが必要とされた規程等の確認

- ・細則(職務権限規程含む)
- ・役員報酬規程
- ・選挙規程
- ・総会運営規程
- ・経理規程
- ・寄付金規程
- ・就業規則
- ・賃金規程
- ・退職金規定
- ・育児休業規程・介護休業規程について
- ・倫理規定

* 申請書、申込書等の様式についてもご検討ください。

③ すでに見直しのあった規程の確認

- ・旅費支給規則
- ・謝金規則
- ・ハラスメント
- ・研修会参加に関する内規
- ・賛助会員申し合わせ

令和6年5月10日

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会
会長 平名 章二 殿

監事 村山 芳博

監事 赤崎 昭朗

監査報告書の提出について

私たち監事は、法人法 99 条 1 項、197 条の規定に基づき監査報告書を作成いたしましたので、別紙のとおり提出いたします。

監査報告書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事および関係者等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事および関係者等から、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、令和5年度に係る計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等)及びそれに付随する明細書等について確認・精査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①理事会で報告された事業報告書は、法令および定款に従い、協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書等の監査報告

決算関係書類において備品台帳の不備や固定資産台帳の未整理を認めました。今後は規程に基づき適正に整理し処理するよう求めます。

3. 監事の意見

- (1) 収支計算書における次期繰越収支差額を考慮し今後の組織運営を計画、遂行してください。また流動負債の未払金の謝金並びに委託料は、年度内の支払いを行うよう是正してください。
- (2) 事務局職員について、令和5年度常勤職員3名から令和6年5月現在、常勤職員2名体制となっています。業務の滞りが無いよう早急に職員採用等の検討をお願い致します。また経理、会計を長年単独で行っており担当者の負担が大きくなっている状況です。このため複数人体制でダブルチェックできる管理体制の検討をお願いします。

令和6年5月10日

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

監事 村山 芳博



監事 赤崎 昭朗



令和6年度 事業計画

事業名

I. 公益事業

1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

講演講師派遣

機能訓練事業委託十島村 鹿児島市社会福祉協議会 ダイハツ健康安全運転講座

【保険政策企画部】（医療保険部+介護保険部+渉外部+政策検討委員会）

- ・会員が医療保険・介護保険・報酬制度の理解を深め、法令を遵守した適切な理学療法業務が行えるよう支援する

R6年度 診療報酬改定に関する情報収集

診療報酬関連法令に関する会員からの問い合わせ、相談への対応

介護保険・報酬制度に関する情報収集

会員からの介護保険・報酬制度に関する問い合わせ、相談対応

研修会及び「介護保険等に関わる市町村説明会」への参加

- ・理学療法士の広報並びに職域拡大等における渉外活動
県・各自治体との渉外活動 必要に応じ、渉外的な活動において参加、同行、情報交換
関連団体等との協働活動 イベント内容や日程調整、 協会員募集の案内、まとめ、運営
- ・理学療法士の活動の円滑化と、身分・地位向上に繋がる、政策検討とその啓発活動、それを進める人材育成・応援

◆政策検討を推し進める人材育成・啓発・応援

- ・鹿児島県理学療法士連盟との情報共有と協力体制継続

1回/年の連盟との合同会議をする

- ・鹿児島連盟リーダー塾研修会を共催

◆行政に関する情報収集・情報解析を行い理事会への政策提言を実施する。

- ・政策提言案の作成と理事会への提出

- ・県・市町村への要望書提出

- ・各研修会開催

◆政策に関する他県との情報共有と調査を実施する。

【スポーツ事業部】（旧スポーツ支援委員会）

スポーツに関係する事業の活動支援や依頼団体との調整などを行う

各団体の主催するスポーツ支援活動（研修会・当日の活動支援）

中学・高校生のスポーツ支援活動（事前研修会・当日の活動支援）

そのほか依頼に対応した追加事業

【高齢者事業部】（旧高齢者福祉部+公益事業部の一部）

一般県民・介護職への介護技術の伝達と理学療法の啓発活動

介護（予防）技術伝達教室の開催（年2回）、起居移乗・褥瘡ケアなどの講義・実技指導

公開講座「看護・介護職向け動作介助指導」

令和6年9月29日（日）かごしま県民交流センター 大ホール

公開講座「シンポジウム」令和7年3月予定

【小児・学校保健事業部】 (旧障がい児者福祉部)

発達サポート研修会(公開講座)

令和5年度同様、ハイブリッド形式研修会(対面とオンラインを併用)とオンライン形式研修会を合計3回予定

【ヘルスケア事業部】 (旧公益事業部の一部)

健康づくりキャンペーン 令和6年7月予定 イオンモールかごしまにて体力測定予定
その他ヘルスケア関連事業

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

地域リハビリテーション活動

地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化(ネットワークの構築)

【始良地区】 研修会6回 症例検討会3回 連携会議

【北薩地区】 研修会2回 症例検討会1回 連携会議

【鹿児島地区】 研修会3回 症例検討会 エントリー件数に応じて予定 連携会議

かごしま市民健康まつりへの参画

【大隅地区】 研修会2回 症例検討会1回 連携会議

【南薩地区】 研修会2回 症例検討会2回 連携会議

【西薩地区】 研修会2回 症例検討会2回 連携会議

【奄美地区】 研修会2回 症例検討会1回 連携会議

【種子屋久地区】 研修会 連携会議

【第38回鹿児島県理学療法士学会の開催】**【学術研修部】** (旧学術部+学術資料部)

協会員の教育や学術の向上をめざし、研修会の成果を県士会員が日常の業務に還元し、リハビリテーション医学の充実に生かしていくことを目的に行う。

年5回研修会を開催

令和6年度学術部研修会の動画をZoomにて録画し、研修会終了後に期間限定で動画配信プラットフォームVimeoにて配信を行う。

【学術誌部】 (旧学術誌編集委員会)

学術誌「理学療法かごしま」の編集、J-STAGEにて公開手続き

【学術支援部】 (旧研究助成委員会)

助成金の上限は10万円とし、採択件数は5件を予定

【専門領域研修部】 (旧専門領域研究部)

専門性の高い治療技術・知識を持つ理学療法士を育成するための自己研鑽を行う場として研修会開催を行う。

小児系2回、生活環境系2回、呼吸器系2回、循環器系2回、神経系2回、運動器系2回、トピックス系1回の合計13回の研修会の企画運営を予定

【職能研修部】 (旧保険部一部+管理者・POS推進リーダー研修会等)

職能関連研修会の企画・運営

3. 教育機関に協力し理学療法士の資質の向上に寄与する事業

【生涯学習部】 (旧生涯学習部)

新卒者オリエンテーション

前期研修

A 初期研修 各1コマ

A-1 職業人と倫理 A-2 協会組織 A-3 人間関係及び接遇

A-4 理学療法における関係法規 A-5 理学療法における情報管理

A-6 生涯学習において ※対面講習

B 理学療法の基礎 各1コマ

B-1 一次救命処置と基本処置 B-2 クリニカルリーズニング

B-3 理学療法の研究方法論 B-4 統計方法論 B-5 症例報告・発表の仕方

B-リスクマネジメント eラーニングで受講依頼

C理学療法の専門 計10コマ eラーニングで受講依頼

D 実地研修 計32コマ

後期研修

A 臨床推論 計4コマ

A-1理学療法診断学① A-2 理学療法診断学② A-3画像診断学 (画像関連)

※会場放映

B 臨床疫学 (演習) 計4コマ

B-1 臨床疫学 B-2 文献検索演習 eラーニングで受講依頼

C 領域別研修 (座学) 計19コマ

C-1 I・II、C-2 I・II、C-3 I・IIを放映予定 ※会場放映

オリジナル分野C-1からC-4まで依頼予定 ※対面講習 (座学・実技)

D 関連領域 計5コマ

D-1 栄養学 D-2 創傷治療学 D-3 薬理学 D-4 福祉住環境論総論

eラーニングで受講依頼

E 領域別研修 (事例) 計6コマ

E-1 神経系理学療法学 E-2 運動器系理学療法学 E-3 内部障害系理学療法学

各地区に依頼

対面のみ (症例検討)

E 領域別研修 (育成) 計5コマ

E-4 臨床実習指導 E-5 臨床教育方法論 E-6 ティーチングとコーチング

eラーニングで受講依頼

F 最近の知見 計8コマ

F-1 神経系領域の最近の知見 F-2 運動器系領域の最近の知見

F-3 内部障害系領域の最近の知見 F-4 基礎・公衆衛生領域の最近の知見

F-5 その他の関連領域に関する最近の知見 F-6 トピックス

F-7 協会の方針 F-8 世界の動向 eラーニングで受講依頼

【臨床教育支援部】 (旧臨床教育支援推進委員会)

＜厚生労働省＞臨床実習指導者講習会事業

鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会に参画し、鹿児島県臨床実習指導者講習会の企画運営を支援推進する

臨床実習指導者研修会事業

厚生労働省臨床実習指導者講習会のブラッシュアップ研修としての研修会を企画

臨床実習施設認証制度事業

新指定規則に準じて制度を見直した臨床実習施設認証制度を推進

その他、県内養成校の臨床実習を支援推進

4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

【広報部】 (旧編集部・広報部)

機関紙 (ニュース等) の企画・編集・発行に関する事項

その他刊行物の編集、発行に関する事項

No. 102~105 6月・8月・11月・2月の年4回の機関誌の発行 (冊子・WEB版)

5. 関連団体との連絡及び協力に関する事業

医療関連団体等との交流・連携及び関係団体の会議出席

理学療法士の職域拡大に関する事項、リハビリテーション関連職種・医療・福祉関係団体並びにその他団体との連携に関する事項

6. 理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業

【広報部】 (旧編集部・広報部)

理学療法週間 (全国一斉イベント) での広報活動

LINEでの情報配信 (会員向け) ・登録者数拡大

SNS (facebook・Instagram等) を活用した情報配信 (会員外向け)

II. その他の事業

1. 会員の福利厚生に関する事業

【福利厚生部】

会員のライフサポートに関する事業の企画及び開催。

会員対象の写真コンテストの開催。

III. 管理費

【総務部】

会員管理(会員入退会及び異動等の手続き及び管理)、日本理学療法士協会との連携
会議議事録の作成・整理及び保管業務、文書の收受・発行及び管理に関する業務
公印の管理に関する業務、刊行物の発送・整理・保管に関する業務、規定集の作成
公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理、他部との連携、
代議員総会の実施

【経理部】 (旧財務部)

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費管理
予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行・支払等、出納帳管理
会計監査、会計事務所との連絡、公益法人会計の研修会参加

【理事会】

各部との連絡調整 理事会の開催 法人の業務執行の決定
法人の業務執行に関する内部監査 理事の職務の執行の監督 会長及び副会長の選定及び
解職
総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
関係団体との各種会議への出席 日本理学療法士協会との各種会議への参加
九州ブロック会長会議出席

【選挙管理委員会】

選挙規定に基づき、理事及び監事（以下「役員」という）、代議員の公正な選挙を行う。
役員選挙の実施と日本理学療法士協会選挙管理委員会との連携

1. 選挙すべき代議員・役員を告示し、立候補の受け付けを行う。
 - ・投票日の30日以前に告示を行う
 2. 役員候補者・代議員候補者の受理及び資格審査
 3. 候補者氏名の告示
 4. 投票及び開票の管理と当選の確認
 5. その他、選挙管理に必要な事項
- 令和6年度 代議員選挙を実施

【規約審議委員会】

各局で事業の重複が見られるので、組織図を見直して事業のスリム化を図る。それに伴い
規定集の見直しを行う。公益社団法人鹿児島県理学療法士協会規定集の発行

【組織運営等検討委員会】

理事会等の答申を受け、組織運営の関する意見を集約し、理事会へ報告する。

正味財産増減予算書 (当初予算)

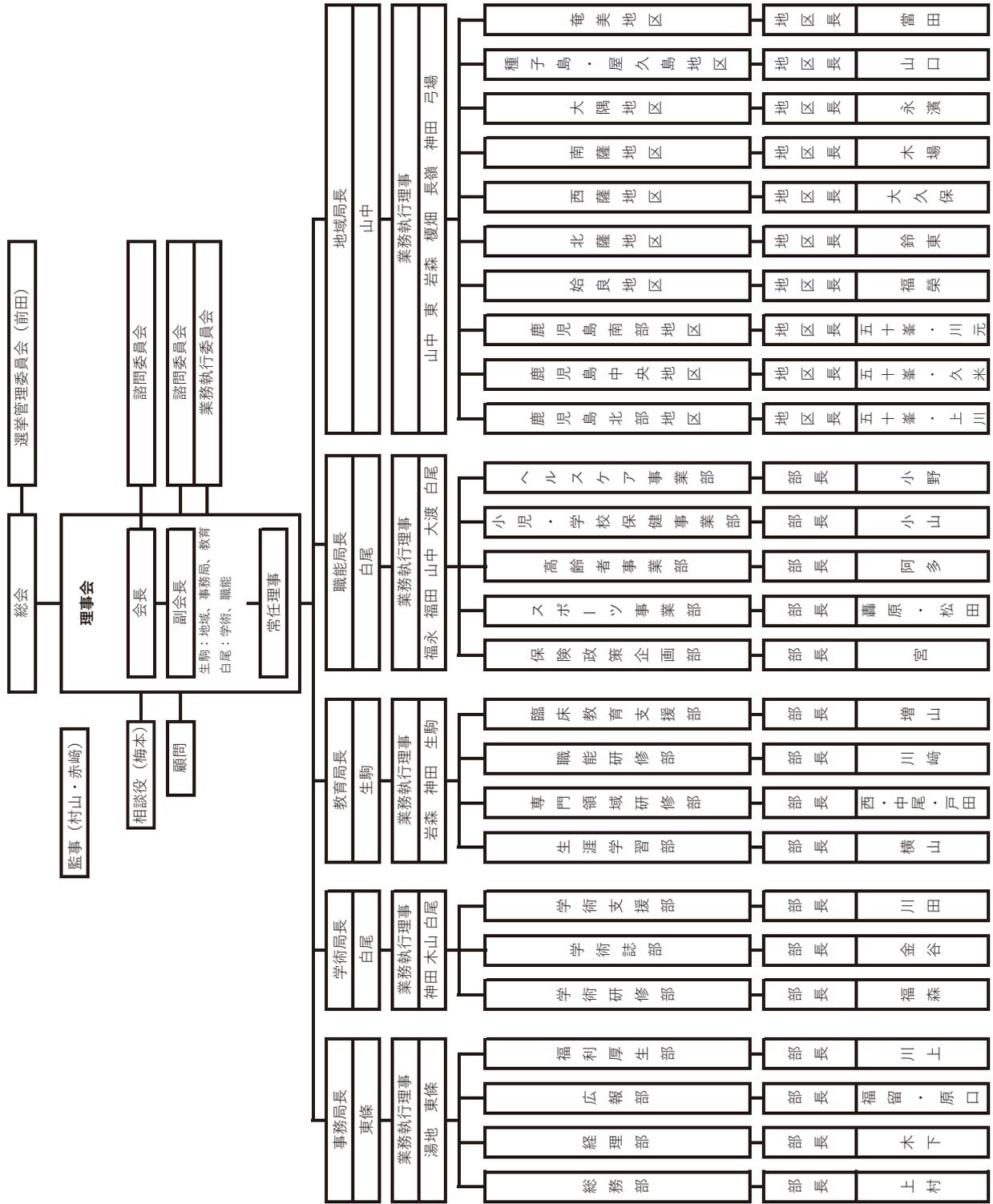
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金				
新人会員入会金	750,000	750,000	0	
受取入会金計	750,000	750,000	0	
受取会費				
正会員受取会費	23,850,000	24,300,000	△ 450,000	
賛助会員受取会費	140,000	140,000	0	
新人会員会費	1,350,000	1,350,000	0	
受取会費計	25,340,000	25,790,000	△ 450,000	
事業収益				
受託事業収益	2,400,000	800,000	1,600,000	
研修会参加料収益	800,000	1,350,000	△ 550,000	
事業収益計	3,200,000	2,150,000	1,050,000	
受取補助金等				
受取民間助成金	2,365,000	1,870,000	495,000	
受取補助金等計	2,365,000	1,870,000	495,000	
雑収益				
雑収益	100,600	200,000	△ 99,400	
雑収益計	100,600	200,000	△ 99,400	
経常収益計	31,755,600	30,760,000	995,600	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	8,155,680	8,106,180	49,500	
退職給付費用		150,000	△ 150,000	
福利厚生費	2,047,644	1,669,542	378,102	
旅費交通費	2,850,000	2,773,800	76,200	
通信運搬費	1,940,000	2,517,800	△ 577,800	
減価償却費	210,000	280,000	△ 70,000	
消耗什器備品費	15,000	180,000	△ 165,000	
消耗品費	395,000	565,000	△ 170,000	
修繕費	200,000	208,580	△ 8,580	
印刷製本費	3,465,000	3,660,800	△ 195,800	
会議費		4,375,820	△ 4,375,820	
光熱水料費	80,000	154,000	△ 74,000	
賃借料	856,000	806,000	50,000	
諸謝金	4,303,554	3,256,000	1,047,554	
支払負担金	1,420,000	1,450,000	△ 30,000	
支払助成金	500,000		500,000	
委託費	500,000		500,000	
会場費	1,460,000	981,200	478,800	
会場設営費	3,430,000	3,600,000	△ 170,000	
研修費	100,000	40,000	60,000	
図書費	23,000	21,000	2,000	
報酬費	4,030,000		4,030,000	
事業費計	35,980,878	34,795,722	1,185,156	
管理費				
役員報酬	1,320,000	1,320,000	0	
給料手当	6,545,220	6,505,620	39,600	
福利厚生費	1,464,952	1,391,051	73,901	
会議費		520,000	△ 520,000	
旅費交通費	1,010,000	835,000	175,000	
通信運搬費	830,000	940,000	△ 110,000	
交際費	100,000	200,000	△ 100,000	
減価償却費	90,000	120,000	△ 30,000	
消耗什器備品費	300,000	100,000	200,000	
消耗品費	225,000	325,000	△ 100,000	
修繕費	300,000	570,000	△ 270,000	
印刷製本費	1,080,000	200,000	880,000	
光熱水料費	100,000	146,000	△ 46,000	
賃借料	394,000	494,000	△ 100,000	
保険料	40,000	30,000	10,000	
租税公課	32,000	35,000	△ 3,000	
支払負担金		500,000	△ 500,000	
支払手数料	370,000	800,000	△ 430,000	
報酬費	450,000	800,000	△ 350,000	
諸会費		30,000	△ 30,000	
会場費	70,000	80,000	△ 10,000	

図書費		10,000	△ 10,000
研修参加費	20,000	15,000	5,000
委託料	1,240,000	40,000	1,200,000
交際費	50,000		50,000
消耗備品費		200,000	△ 200,000
雑費	43,550	7,607	35,943
管理費計	16,074,722	16,214,278	△ 139,556
経常費用計	52,055,600	51,010,000	1,045,600
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,300,000	△ 20,250,000	△ 50,000
当期経常増減額	△ 20,300,000	△ 20,250,000	△ 50,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 20,300,000	△ 20,250,000	△ 50,000
一般正味財産期首残高		37,761,602	△ 37,761,602
一般正味財産期末残高	△ 20,300,000	17,511,602	△ 37,811,602
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	△ 20,300,000	17,511,602	△ 37,811,602

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 組織図



会長あいさつ



新組織体制スタートに寄せて

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

会長 平 名 章 二

会員の皆様におかれては多忙な臨床の中、益々自己研鑽に勤んでおられることと思います。新型コロナ禍が落ち着き社会活動は正常化するに伴って保健医療・福祉活動はもとの体制を取り戻しつつあり、今後様々な活動が復活していくものと思われまます。

さて、令和6年度は2025年に向けたトリプル改定が実施され、国民ならびに私達理学療法士に大きな影響があることが想定され、その対応に追われる1年となりそうです。とはいえ、国民・県民の健康・福祉に寄与するための自己研鑽、職業倫理の高揚と理学療法の学術及び技能の向上という至上命題はこれまでと何ら関係なく取り組むべきことと考えます。同時に特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会のレガシーより、スポーツ関連各団体と学校保健・体育活動にもますます寄与することができると考えており引き続きこれらの事業強化に努めたいと考えています。また地域包括ケアシステムの醸成も最終段階であり専門職としての関わりがより増大しています。このような状況下を鑑み、当会会員が団結し取り組んだ種々の事業をより深化させ、その対象者の拡大をはかり、全世代型の幅広い事業を展開したいと考えているところです。

そこで、当会執行部では現在の組織図を現状と将来を見越した新たな新組織に再編することとし、斬新でありながらも効率的な活動ができるよう事業再編も行いました。また組織再編により新たに2名の理事が加わり活動頂きます。地域おける活動と協会専門各部の活動における連携と機能深化を図り地域における種々の事業をさらに充実したものにし、従前の公益活動の拡大に努めて参りたいと考えます。

重点課題としては、

- (1) 新組織運営による連携・業務効率化と内容の深化
- (2) 学術研究、臨床力向上の機会推進
- (3) 地区保健医療・福祉・予防活動の充実・推進
- (4) スポーツ支援活動の推進
- (5) 学校保健・体育活動の支援推進
- (6) 行政各所との協働による地域活動と職能活動の推進と拡大

を活動の基本視点として事業計画及び予算を策定しております。

今後も県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与する団体として活動を展開して参りますので会員諸氏のご協力をお願いします。併せて、士会運営に忌憚のないご意見・アイデアを各地区代議員に届けて頂きますと会員諸氏と役員が一体となって当県理学療法（士）界が前進できるものと思っておりますので、この点もよろしくお願いたします。

副会長・理事・部長あいさつ

副会長（教育局長兼務）



米盛病院

生駒 成亨

副会長の生駒です。新体制において教育局を担当します。前期研修・後期研修・登録理学療法士取得・更新などの生涯学習システム、推進リーダー制度・協会指定管理者制度などの職能研修、臨床実習指導者講習会などの臨床実習指導者研修など、日本理学療法士協会が運営する制度において、会員の皆様がキャリア形成していける環境の構築に努めたいと思います。

副会長（学術局長、職能局長）



鹿児島医療福祉専門学校

白尾 麻美

今年より副会長、学術局長、職能局長を拝命しました鹿児島医療福祉専門学校の白尾です。学術局では学術誌・学術支援・学術研修を通じて会員の皆様の学術活動支援を行うことを目的としています。職能局では保健政策企画・ヘルスケア・小児学校保健・スポーツ・高齢者事業を通じて活躍の場を広げることで、理学療法士の社会貢献を目指しています。微力ながら尽力させていただき所存です。よろしくお願い申し上げます。

事務局長 業務執行理事



東條 夏也

今年度、新組織体制になり、引き続き事務局長及び業務執行理事として、総務部・経理部・広報部・福利厚生部を統括することになり、残りの任期を業務をすることになりました。

県協会の事業や研修会など会員の皆様には、可能な限り会員の皆さんのお手伝いさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

業務執行理事（地域局長・職能局兼務）



菊野病院

山中 純

地域局長、地域局業務執行理事と職能局業務執行理事を務めさせていただきことになりました。

これまで同様に地区活動の活性化と連携強化を図るとともに、小児学校保健やスポーツ領域での活動についても活発な活動となりますように努力していきたいと思っております。ご意見やご要望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

地区長や部長のご協力を頂きながら、会員の皆様と

一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

事務局 業務執行理事



きりしま内科リハビリクリニック
湯地 英充

今年度より事務局 執行担当理事を拝命致しました湯地と申します。

理事としては二期目になります。一期目の広報・調査担当理事では皆様の意見に耳を傾けられるような理事になりたいと思ひ活動して参りました。二期目に関してはそれに加えて情報発信というところも重要になるものと思っております。臨床場面において会員の活動が安心して活発に行えるよう正確な情報を発信して参ります。至らない点が多々あるかと思ひますが皆様、よろしくお願ひ致します。

業務執行理事（学術局・教育局・地域局兼務）



鹿児島第一医療リハビリ専門学校
神田 勝利

新組織体制となり昨年度から引き続き、始良地区業務執行理事と今年度より学術局・教育局業務執行理事を務めさせていただきます鹿児島第一医療リハビリ専門学校の神田勝利と申します。学術局と教育局に関しては、初の業務執行理事となりますのでご迷惑等おかけするかと思いますよろしくお願い申し上げます。

昨年5月よりコロナウィルスが5類に移行したことに伴い、オンラインから少しずつ対面での研修会が可能となつてまいりました。始良地区や学術部、教育局の活動においては、引き続き福榮地区長や前任の部長の先生方へ依頼・承諾いただき、また各部員の先生方と一緒に始良地区や各局の研修会においてオンラインや対面（ハイブリッド）といった長所面を活かしながら先生方の研鑽等に努めてまいりたいと思ひます。特に新任の先生方においては生涯学習（前期・後期研修・登録理学療法士）の修了や取得のために研修会・症例検討会案内等を県士会ホームページや公式ラインで確認お願いいたします。

学術局 業務執行理事



鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
木山 良二

7月より学術局業務執行理事を担当させて頂くことになりました木山良二です。主に学術誌部と学術支援部を担当させていただき予定です。学術誌「理学療法かごしま」の発行、研究助成の運営、学会の運営サポートなどに携わることになります。荷が勝ちすぎているとは思ひますが、部員や会員の力を最大限に活用させていただきながら、会員

皆様のサポートができるように頑張っていきたいと思
います。ご要望やご意見などありましたら、気軽に声
をかけて頂けたら嬉しいです

(kiyama@health.nop.kagoshima-u.ac.jpまで)。
何かと不手際があるかと思いますが、ご協力よろしく
お願いいたします。

業務執行理事 (教育局・地域局兼務)



介護老人保健施設グレースホーム
岩 森 俊

上記の担当理事となりました
岩森です。私が担当させていただ
く部は、会長が掲げた6つの重点
課題、その中でも「②学術研究、
臨床力向上の機会拡大・推進」

「③地区保健医療・福祉・予防活動の充実・推進」
「⑥行政各所との協働による職能活動の推進と拡大」
の部分と大きく関係いたします。担当局長、部長、部
員の先生方、そして他部局の理事の先生方とも、しっ
かりと連携をとりながら、職務を遂行していきたいと
思います。会員の皆様からのご意見、ご要望等もいた
だきながら活動したいと考えますので、お気づきの点
がございましたらお気軽にお声かけください。どうぞ
よろしくお願いいたします。

職能局 業務執行理事



介護老人保健施設
ラ・フォンテいずみ
福 永 裕 樹

職能局の業務執行理事となりま
した福永裕樹と申します。主に
保険政策企画部とヘルスケア事業
部の担当となります。昨年度では、
公益事業や公開講座の開催、政策検討など理事として、
多くの方にご協力頂き、事業実施ができました。あり
がとうございました。この経験を活かし、県民の健康
と福祉の発展に寄与できるよう尽力してまいります。

職能局 業務執行理事



恒心会おぐら病院
福 田 秀 文

旧組織福祉 (高齢者福祉部)
担当理事から新組織の高齢者事業
部業務執行理事を拝命しました
恒心会おぐら病院の福田です。

旧福祉部では同じ福祉部の中
に高齢者と障がい児・者がありましたが、新組織では
1つの事業部となりました。当面は、旧高齢者福祉部
の事業を引き継いでいきますが、1つの事業部にもな
りましたので改めて「高齢者」という視点から事業を
見直し、県民および協会のニーズに答えられるよう
な部にしていきたいと思ひます。またご助言等ありま
したらよろしくお願い致します。

職能局 業務執行理事



鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
大 渡 昭 彦

職能局業務執行理事を拝命した
鹿児島大学の大渡です。昨年ま
ではスポーツ活動支援委員会の委員
長をしておりましたが、士会の
組織改編に伴い職能局へ配属となり
ました。昨年度は鹿児島国体のサ
ポートをメインに行い、その他に
鹿児島県高校野球連盟の高校生を
対象とした肩肘検診、薩摩おいど
んカップの協力、城西中・伊敷中
合同サッカークリニックサポート、
鹿児島マラソンボランティアサポ
ート等、多くのスポーツ活動支援
に関わることができました。また、
全国障がい者スポーツ大会 (燃ゆる
感動かごしま大会) サポート後
も鹿児島大学の学生や松田史代先
生を中心に練習会などのサポート
を頑張ってくださいています。今
年度も職能局でスポーツ事業部を、
今村総合病院スポーツ整形外科の
轟原与織先生と、鹿児島大学の
松田史代先生にご協力をいただき
ながら担当させていただきます。

スポーツ事業部以外に小児・学校
保健事業部の補助もさせていただ
く予定です。これらの分野は今後
の士会活動でも注目が高くなって
おりますので、積極的に活動を展
開していきたいと考えております。
今後の活動に関しましては会員
の皆様のご意見を伺いながら方
向性を定めていきたいと考えてお
りますので、ご協力をお願いいた
します。ご意見、ご質問のある
方は下記へご連絡ください。で
きるだけメールでご連絡をして
いただくと助かります。今後とも
宜しくお願いいたします。

鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 大渡昭彦
〒890-8506 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
TEL&FAX 099-275-6804
e-mail: oowatash@health.nop.kagoshima-u.ac.jp

地域局 業務執行理事



厚地りハビリテーション病院
東 幸 太

今年度、鹿児島地区担当理事を
させて頂くこととなりました。以
前の鹿児島地区長としての経験
を活かし鹿児島市 (地区) の抱
える問題や課題など色々と感じ
ておりました。

他の地区とは会員数も圧倒的に
異なり、多くの会員が在籍して
おります。より活発な協会活動
として地区研修会・地区症例検
討会を行う中で学術的にもよい
活動ができればと考えており
ます。また鹿児島地区という
団体としての活動的にも可能
性を秘めた地区ではないかと思
ひます。

新組織となり今の時代に即した組織に生まれ変わりました。今後、更に会員が会員たる意味を再認識し、より新しい考え方を持って良い地区活動が行えるように会員の皆様と共に一緒に頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

地域局 業務執行理事



恒心会おぐら病院
榎畑 純二

引き続き大隅地区担当理事に拝命されました恒心会おぐら病院の榎畑です。

研修会、症例検討会の企画運営を円滑に進めてまいりたいと思えます。またフレイル予防事業など行政からの依頼が多くなっており、理学療法士の地域での活躍の場を提供できるようにしていきたいと思えます。ご協力よろしくお願いします。

地域局 業務執行理事



川内市医師会立市民病院
長嶺 英博

北薩地区担当理事となりました長嶺と申します。鹿児島県理学療法士協会役員の先生方も最近では新旧交代の波が押し寄せていると感じています。そしてその中でも古参の部類に入る者ですが、与えられた時間と機会に感謝し、会員の皆さまのお役に立てるよう努力していく所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

地域局 業務執行理事



鹿児島大学病院
弓場 裕之

今季より種子屋久・奄美地区担当理事に就任致しました弓場裕之と申します。前期まで広報・調査担当理事を担当しておりましたが、今回、再び地区担当理事となりました。担当は種子屋久地区と奄美地区となります。特に、種子屋久地区はこれまで鹿児島地区の一部として活動しておりましたが、新たに地区長を選任し、独立した形での地区活動となります。新しく誕生した種子屋久地区、そしてこれまで以上に奄美地区をしっかりサポートし、協会のサービスが行き届くよう尽力して参りたい所存です。また、この場をお借りしまして、前担当でお世話になりました、広報部・調査部のスタッフの皆様へ厚く御礼を申し上げます。加えまして、これからお世話になります、種子屋久地区、奄美地区の地区長、部員の皆様、どうかよろしくお願い致します。

総務部 部長



鹿児島県理学療法士協会
上村 明子

引き続き総務部担当となりました上村（かみむら）と申します。

会員の異動手続き等含めた会員管理や郵送物の発行、ホームページ管理などを担当しております。また、日本理学療法士協会や他部門との連携、総会や理事会等の支援などスムーズな協会運営に貢献できるよう努めて参ります。

経理部 部長



鹿児島医療技術専門学校
木下 恵美

前年度に引き続き経理部（旧財務部）の部長を拝命いたしました鹿児島医療技術専門学校の木下と申します。

会員の皆様に安心してご活躍していただけますよう、スムーズな協会運営に貢献できるように努めて参りたいと思えます。何卒よろしくお願い致します。

広報部 部長



豊島病院
福留 史剛

広報部担当となりました福留と申します。

会員の皆様への情報発信や現状の周知、「理学療法士」と県民の皆様や行政・県内各種団体の方々との信頼関係を構築できるようイベントなどを通じて活動していきたいと思えます。

引き続き、鹿児島県理学療法士協会の公式LINEアカウントへのお友達登録もよろしくお願い致します。

広報部 部長



加治木温泉病院
原口 拓人

広報部担当となりました原口と申します。協会機関紙（ニュース等）の企画、編集、発行に関する担当となります。有益な情報を発信できるよう、努めてまいりたいと思えます。また、協会ニュースに掲載したい記事等ありましたら、気軽にご相談下さい。よろしくお願い致します。

E-mail : rihabiri@gyokusyokai.com

福利厚生部 部長

田上記念病院
川上 剛

福利厚生部長を担当させていただきます川上剛と申します。

福利厚生部は会員の皆様の福利厚生に関する活動を推進し、親和を図る活動を実施しております。

各年代層を通して参加しやすく、皆様にご満足いただけるような企画を計画しております。昨年度、多くの応募をいただきました「写真コンテスト」は“笑顔とリハビリ”をテーマに今年度も開催予定です。豪華な副賞も準備しておりますのでお気軽にご応募ください。微力ながら会員の皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学術研修部 部長

霧島杉安病院
福森 愛美

昨年に引き続き学術研修部長を拝命いたしました福森です。

本年度は講師の先生方のご協力のもと、現地開催とオンデマンド配信にて研修会を実施していきたいと考えております。会員の皆様により充実した学術活動を行えるよう努めてまいりますので、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

学術誌部 部長

株式会社リニエR リニエ訪問
看護ステーション鹿児島
金谷 親好

昨年に引き続き、学術誌「理学療法かごしま」の編集部長を拝命いたしました金谷親好です。学術誌では編集委員と協力して、

会員の皆様の臨床や学術活動に対して有益な情報提供の場の一助となるよう、また当協会の卒後教育、臨床、研究を含めた総合的な能力の向上に繋がるよう努めて参りたいと思っております。今後も、会員の皆様の積極的なご投稿を宜しく願いいたします。

学術支援部 部長

鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
川田 将之

学術支援部担当となりました川田将之と申します。研究助成、学会運営といった県協会員の皆さんの研究活動を推進できるように

活動を行っていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

生涯学習部 部長

鹿児島医療技術専門学校
横山 尚宏

生涯学習部の部長を拝命しました鹿児島医療技術専門学校の横山です。主に前期研修、後期研修に携わります。新生涯学習システムに移行して3年目となります。登録

理学療法士は多様な障害像に対応できるジェネラリスト育成を目指しており、最短5年で取得することが可能です。この登録理学療法士は、社会に対する理学療法士の質の担保の証となりますので、取得できるように先生方をサポートしていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

専門領域研修部 部長

慈愛会いづろ今村病院
西 洋樹

今年度も専門領域研修部で部長の役を努めさせて頂くこととなりました。理事の岩森先生、中尾・戸田両部長のご指導や各領域の先生方のご協力を頂きながら、

今後も多くの会員皆様にとって魅力的な研修会を企画できればと思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

専門領域研修部 部長

鹿児島大学病院
中尾 周平

専門領域研修部担当となりました中尾と申します。各種研修会を開催することで会員の皆様方に多くの有益な情報をご提供できるように理事ならびに部長、研修部担当の先生方と協力して取り組んで参ります。

よろしくお願い申し上げます。

専門領域研修部 部長

平和会クリニック
戸田 博之

専門領域研修部担当の戸田と申します。皆様の日々の業務に直結するような研修会を企画してまいります。

研修内容についてご要望ありましたらお気軽にご相談ください。今年度もよろしくお願い申し上げます。

職能研修部 部長

今村総合病院

川崎 和也

この度、職能研修部長を担わせて頂くことになりました川崎和也と申します。

職能研修部は今年度より新設された部となります。生駒局長、岩森理事と協働して皆様に有益な情報をお伝えできればと思っております。

今後、部としての取り組み等を発信していきたいと考えております。

どうぞよろしく願いいたします。

臨床教育支援部 部長

加治木温泉病院

増山 泰英

今年度から臨床教育支援部長を拝命いたしました、増山と申します。教育局担当理事の生駒成亨先生のご協力をいただきながら、実習指導者講習会の開催やブラッシュアップ研修の企画・開催を行い、県士会員の皆様に有益な情報を発信してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

保険政策企画部 部長

介護老人保健施設

アンダンテ伊集院

宮 雅紀

今年度新組織体制になり、保険政策企画部長を拝命いたしました宮雅紀です。保険政策企画部では、旧保険部と旧政策検討委員会の役割が大きく、政策企画、立案と診療報酬、介護報酬等の各種保険の対応が主な事業内容になります。政策に関わることで部員の皆様と共に士会・連盟と情報共有を行い、政策提言・情報収集に努めてまいります。

スポーツ事業部 部長

今村総合病院

轟原 与織

今年度より新設されたスポーツ事業部の部長を拝命いたしました、今村総合病院の轟原与織(トドロハラ ヨオリ)と申します。昨年度は、スポーツ活動支援委員会の大渡先生、牛ノ濱先生、松田先生のご尽力のお陰で、燃ゆる感動かごしま国体・大会において多くの理学療法士が活躍することができました。心より感謝申し上げます。大渡先生の足跡を辿りながら、皆様のご支援とご協力を頂きつつ、スポーツ分野における理学療法士の活動をさらに発展させて参りたいと考えております。

今回の、かごしま国体を契機に、高校野球肩肘検診や薩摩おどんカップ障害予防教室の依頼が寄せられました。肩肘検診、障害予防教室は今村総合病院の吉田先生、白尾先生にご尽力いただき、有意義な事業となりました。

今後も理学療法士の専門性を活かして、競技者のスポーツ障害予防や、障がい者のスポーツ活動実践に対する支援ができるよう努めて参りたいと思います。鹿児島県理学療法士協会がスポーツ分野でさらに認知され、求められる存在となるよう、一步ずつ着実に前進していく所存です。また、燃ゆる感動かごしま国体・大会、肩肘検診事業を支えてくださった皆様には、深く感謝申し上げます。これからもスポーツ事業部の活動において、皆様のご協力を賜りたく存じます。どうぞよろしく願い申し上げます。

スポーツ事業部 部長

鹿児島大学医学部保健学科

理学療法学専攻

松田 史代

理事の大渡先生、部長の轟原先生のお力添えをいただき、スポーツ支援部の主にパラスポーツ領域の部長を務めさせていただきます鹿児島大学保健学科の松田史代です。昨年度は全国障がい者スポーツ大会に資格審査・コンディショニングルーム運営と多数の会員の皆さまのお力添えをいただきありがとうございました。このレガシーを今後どのように継承していくか模索中のところもありますが、チーム鹿児島一丸となって飛躍できるように、どうぞよろしく願いいたします。

高齢者事業部 部長

霧島杉安病院

阿多 昌幸

今回、前任期に引き続き高齢者福祉部改め高齢者事業部部長に任命されました霧島杉安病院の阿多昌幸です。

高齢者事業部の活動としては、県民に対して実技を含めた高齢者対応の情報提供と社会福祉協議会や外部依頼講習会を開催しています。今年度も部員一同それぞれの役割を務めていきます。よろしく願いいたします。



小児・学校保健事業部 部長



菊野病院

小山 尚 宏

今年度より、【障がい児・者福祉部】から【小児・学校保健事業部】に名称変更となりました。引き続き、部長を務めさせていただきます。

当事業部は、県民の健康発達、健康増進のサポートを目的とし、小児および小児に関わる方々を主な対象として、年2回の発達サポート研修会（公開講座）の企画・開催を活動の柱としております。

小児の体力・運動能力の低下や運動器疾患・障害を予防していく取り組みが求められており、学校保健分野における理学療法士の役割は年々大きくなっていると感じます。

県内全域の子どもたち、その家族・関係者に寄り添いながら、発達サポート研修会やその他活動を通して県民に還元していきたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

ヘルスケア事業部 部長



デイサービスHOMEBASE

小野 恵

この度、ヘルスケア事業部部長を拝命いたしました小野です。

新組織体制で再編された新しい部であり、県民の健康延伸、産業理学療法、ウィメンズヘルスケアなど、さまざまな活動があります。これから作り上げていく部として、会員の皆様のご協力をいただきながら、一緒に考え、発展できる事業を行っていただけるよう尽力していきたいと思っております。また、部の活動を通して、理学療法士の知識・技術を今まで以上に周知・活用していただけるよう、微力ではありますが努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

鹿児島総括地区長



八反丸リハビリテーション病院

五十峯 淳一

鹿児島地区長を務めさせていただきます、八反丸リハビリテーション病院の五十峯淳一です。

3人の地区長の先生方と協力して鹿児島地区が円滑に活動できるよう支援していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

鹿児島北部 地区長



天陽会中央クリニック

上川 毅 康

鹿児島地区長を務めさせていただきます、天陽会中央クリニックの上川です。

症例検討会や講習会等の開催を通じて、地区の会員の皆様の知識と技術の向上および顔の見える関係作りのために少しでも貢献できるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

鹿児島中央地区 地区長



米盛病院

久米 康 隆

鹿児島地区長の久米康隆と申します。中央地区を担当しています。

昨年度は、理事や各地区長の先生方、地区リーダーの先生方、症例報告会や研修会の講師・参加者の先生方、その他多くの会員の皆様との交流を経験し、理学療法士としての情熱や楽しさ、そして横の繋がりや連携の大切さを改めて感じ、学ばせていただきました。

会員の皆様にとって、有益かつ魅力的に思える鹿児島地区活動を心掛けて、企画運営を行ってまいります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。

鹿児島南部地区 地区長



鹿児島医療技術専門学校

川元 大 輔

鹿児島南部地区の地区長を拝命いたしました、鹿児島医療技術専門学校の川元と言います。

研修会や症例報告等を通じて、県士会の発展に寄与できるよう努力して行く所存です。どうぞよろしくお願い致します。

始良地区 地区長



霧島市立医師会医療センター

福 榮 竜 也

始良地区の地区長の 福榮 竜也（霧島市立医師会医療センター）と申します。昨年度は慣れない仕事に戸惑いばかりでしたが、部員の皆様や諸先輩方のご支援だけでなく職場の皆様のご理解もあり、何とか一年を通して職務を全うできました。始良地区は今後も魅力的な学びの場を皆様に提供し、それぞれが個性を生かし、積極的な分野に視野を広げられる組織作りを目指してまいります。まだまだ若輩者ではございますが、これからもご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

北薩地区 地区長



クオラリハビリテーション病院
鈴木 伸 洋

今回も北薩地区長を務めさせていただくことになりました。

北薩ブロック会員一丸となり、協会運営やブロック活動の活性化を図りたいと考えております。

多くの会員の方に役に立つ情報の紹介や活動を念頭に置き、皆様とともに北薩地区を発展させていきたいと思っております。

これからも地区活動に対する皆様のご協力を、よろしくお願いたします。

西薩地区 地区長



馬場病院
大久保 鉄 男

この度、西薩地区、地区長を拝命しました、馬場病院の大久保鉄男です。

不慣れな大役に不安もありますが、担当理事、リーダーの先生方と楽しみながら活動して行こうと思っております。よろしくお願致します。

南薩地区 地区長



南薩ケアほすびたる
木 場 涼 介

昨年同様、南薩地区長に着任しました南薩ケアほすびたるの木場涼介と申します。昨年度は右も左もわからず、右往左往しながら南薩地区会員の皆様のご協力のもと、地区長職を全うすることができました。今年度は、研修会も対面での開催を企画できており、昨年とはまた違ったものを提供しながら、引き続き南薩地区の発展、向上を目指して邁進してまいりたいと思っております。南薩地区の皆様、ご協力をよろしくお願いたします。また、様々なご意見もいただきながら昨年の反省も生かし、前進していけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

今年度は、研修会も対面での開催を企画できており、昨年とはまた違ったものを提供しながら、引き続き南薩地区の発展、向上を目指して邁進してまいりたいと思っております。南薩地区の皆様、ご協力をよろしくお願いたします。また、様々なご意見もいただきながら昨年の反省も生かし、前進していけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

大隅地区 地区長



恒心会おぐら病院
永 濱 良 太

大隅地区担当となりました永濱と申します。前任から継続となりますが、引き続き大隅地区会員の皆様への、有益な研修会の開催に取り組んでまいります。また、地区会議等では、会員間での情報共有を行い、連携体制向上に努めてまいります。よろしくお願いたします。

大隅地区担当となりました永濱と申します。前任から継続となりますが、引き続き大隅地区会員の皆様への、有益な研修会の開催に取り組んでまいります。また、地区会議等では、会員間での情報共有を行い、連携体制向上に努めてまいります。よろしくお願いたします。

種子島・屋久島地区 地区長



種子島医療センター
山 口 純 平

この度、種子島・屋久島地区長を拝命しました種子島医療センターの山口と申します。これまでの種子島・屋久島地区は鹿児島地区の一部として、研修会や症例検討会に参加させて頂いておりましたが、今後は種子島・屋久島地区での活動を行ってまいります。地区長として、まだまだわからないことも多いですが、担当理事の先生方にご協力をいただきながら、種子島・屋久島地区を盛り上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

奄美地区 地区長

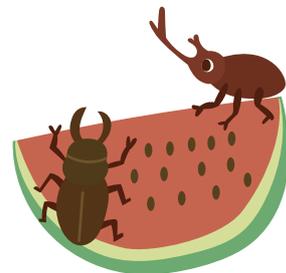


奄美市笠利国民健康保険診療所
當 田 直 哉

引き続き奄美地区長をさせていただくことになりました。奄美市笠利国民健康保険診療所 當田直哉(とうだ なおや) と申します。

理学療法士の社会的役割の重要性が高まり、更なる自己研鑽が求められるようになりましたが、最近では県本土の研修会もリモート式開催があり、以前と比べ離島の会員でも研修会等への参加が比較的しやすい環境になったと思っております。

地域の方々の為、社会の為に、我々が提供できる事の質を高め、より良い地域貢献・社会貢献を実現ができるため、奄美大島本島だけでなく、離島を含めた奄美地区全てで盛り上げていけたらと考えております。今後とも宜しくお願いたします。



監事



今村総合病院
村山 芳博

引き続き監事を拝命させて頂く村山と申します。定款・細則に基づいた会の運営、また、会計監査を行いながら、会員の為のしっかりとした協会の活動に寄与できればと考えております。よろしくお願いいたします。

監事



鹿児島県理学療法士連盟
赤崎 昭朗

昨年度監事監査においては、前期に規程に準じて業務が遂行されているかを中心に監査を行い現状として業務状況に合わない規程等について検討をお願いしました。また後期は主に会計処理等について管理体制の検討をお願いしました。今年度につきましても年2回の監査において公益法人としてコンプライアンスを遵守し、理事の業務執行状況や会計状況の情報の共有と透明性の確立に役立てられるよう監事としての職責を全うしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

選挙管理委員会 委員長



霧島桜ヶ丘病院
前田 哲

今期も選挙管理委員長を務めさせていただきます。若輩者にあり、会員の皆様へはご迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯努めてまいります。スムーズな選挙管理運営の為、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

規約審議委員会 委員長



ザ王病院
弥栄 博文

規約審議委員会委員長を拝命いたしましたザ王病院の弥栄です。組織図の変更がなされ、新しい組織体制でのスタートとなります。会員皆様への円滑な組織運営ができますように取り組んで参りたいと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。

組織運営等検討委員会 委員長



厚生相談所
坂本 一路

前回から引き続き組織運営等検討委員会の運営をいたします坂本です。組織運営等検討委員会では、理事会からの依頼を受け士会の運営等に関して協議し答申として理事会へ提出しています。今年度初めには、全国的に退会が増加し、特に若い会員の退会率が高いことを踏まえ、当士会での会費の割引制度について、理事会へ提案しました。今後の会員の処遇を含め、より良い士会の運営ができるように協力していきます。



2023年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業報告

【 事業の部 】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

① 介護予防推進リーダー研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」 「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

Zoomによるオンライン

9月23日 参加者26名 (PT12名、OT9名、ST5名)

② 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」 「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」 「模擬会議の実際と心構え (グループ討議)」

Zoomによるオンライン

9月24日 参加者20名 (PT9名、OT2名、ST7名)

③ 地域ケア会議・介護予防推進リーダーステップアップ研修会

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

12月9日 参加者16名 (PT7名・OT2名・ST7名)

2. 訪問リハ研修会

・実務者研修 講師7名 Zoomによるオンライン

9月30日 参加者27名 (PT19名・OT3名・ST5名)

・ステップアップ研修会 Zoomによるオンライン

「訪問リハの役割を考える～地域ケア会議に役立つ事例分析～」

2月10日 参加者8名 (PT6名・OT2名)

3. 人材派遣・相談事業

<委託事業>

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣 20回

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等 239回(PT163名・OT47名・ST29名) 参加者 3781人

よかよか元気クラブ 625回(PT537名・OT88名) 参加者6459人

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業 29回 (PT20名, OT9名) 参加者399人

鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

各市町村へのPT・OT・STの派遣事業 10回 (PT9名・ST1名)

<委員の推薦>

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区4回(PT12名・OT12名・ST12名)

始良市地域ケア個別会議 (PT3名・OT3名・ST3名) 委員推薦

鹿屋市認知症初期集中支援チーム検討委員会委員推薦 OT1名

鹿児島市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進協議会 委員推薦 PT1名・OT1名

鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会 委員推薦

鹿児島県循環器病対策推進協議会 委員推薦

4. 災害リハに関する事業

福祉避難所の概要説明及び意見交換会 1回

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1回

鹿児島JRATへの協力

【 管理の部 】

会員数4,259名 (PT 2,558名・OT 1,123名・ST 578名) 2024年3月31日現在

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作成

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	昨年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息			
③ 受取負担金			
士会負担金			0
④ 受取会費			
会費	408,600	425,300	△ 16,700
⑤ 事業収益			
委託事業収益	10,062,900	10,232,962	△ 170,062
研修会事業収益	162,500	266,000	△ 103,500
⑥ 雑収益			
受取利息	98	101	△ 3
経常収益計	10,634,098	10,924,363	△ 290,265
(2) 経常費用			
諸謝金	7,913,961	8,402,599	△ 488,638
会議費	157,792	248,150	△ 90,358
賃借料	266,330	240,000	26,330
通信運搬費	112,122	164,537	△ 52,415
ソフトウェア			0
消耗什器備品費			0
印刷製本費			0
消耗品費		4,016	△ 4,016
旅費交通費	101,818	283,560	△ 181,742
人件費		1,724,292	△ 1,724,292
事業委託費	1,500,000	503,360	996,640
委託費	387,200		387,200
負担金	100,000	100,000	0
渉外費			0
福利厚生費	24,094		24,094
什器備品費			0
修繕費	46,200	46,200	0
光熱水費			0
租税公課	73,150	73,400	△ 250
支払手数料	155,752	51,920	103,832
減価償却費	0	0	0
経常費用計	10,838,419	11,842,034	△ 1,003,615
評価損益等調整前登記経常増減額	△ 204,321	△ 917,671	713,350
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	△ 204,321	△ 917,671	713,350
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 204,321	△ 917,671	713,350
一般正味財産期首残高	8,050,475	8,968,146	△ 917,671
一般正味財産期末残高	7,846,154	8,050,475	△ 204,321
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	7,846,154	8,050,475	△ 204,321

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,606,085	7,498,958	107,127
未収金(リハビリテーション専門職派遣事業)	1,740,064	551,512	1,188,552
流動資産合計	9,346,149	8,050,470	1,295,679
2. 固定資産			
(1)基本財産			
	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
有形固定資産	0	0	0
什器備品	3	3	0
無形固定資産	2	2	0
その他固定資産合計	5	5	0
固定資産合計	5	5	0
資産合計	9,346,154	8,050,475	1,295,679
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,500,000	0	1,500,000
前受金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	1,500,000	0	1,500,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,500,000	0	1,500,000
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	7,846,154	8,050,475	△ 204,321
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	7,846,154	8,050,475	△ 204,321
負債及び正味財産合計額	9,346,154	8,050,475	1,295,679

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金	鹿児島県POS連絡協議会事務局	運転資金	0
預金	鹿児島銀行県庁支店	運転資金	6,977,480
	鹿児島銀行県庁支店	研修参加費徴収	628,605
未収金		リハビリテーション専門職派遣事業・鹿児島市・鹿屋市委託事業	1,740,064
流動資産合計			9,346,149
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
有形固定資産			
什器備品	パソコン2台・エアコン	各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	3
無形固定資産	ソフトウェア	ホームページ作成ソフト	2
固定資産合計			5
資産合計			9,346,154
1. 流動負債			
未払金		事業委託費	1,500,000
前受金			
預り金			
流動負債合計			1,500,000
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			1,500,000
正味財産			7,846,154

一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
連絡協議会
令和5年度監査報告書

令和6年4月25日・5月22日、事業ならびに会計監査を一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会事務局にて行いました。その結果、活動も活発に行われ、事務局活動、理事会活動の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

次年度も引き続き、活発な活動にて、貢献されることをお願いします。

以上、監査報告といたします。

令和6年5月22日

監事 村山 芳博

監事 松尾 康弘

監事 安藤 千恵



2024年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業計画

【 事業の部 】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）」

② 介護予防推進リーダー養成導入研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

③ ステップアップ研修会

2. 訪問リハ研修会

実務者研修会 10月

ステップアップ研修会 2 or 3月

オンラインでの開催を予定しているが、対面研修会も検討

3. 人材派遣・相談事業

<委託事業>

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等

よかよか元気クラブ

ボランティア等への講師・個別相談

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業（地域ケア個別会議、専門職派遣）

鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

<委員の推薦>

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区

始良市地域ケア個別会議

鹿屋市認知症初期集中支援チーム検討委員会委員推薦

鹿児島市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進協議会

鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会

鹿児島県循環器病対策推進協議会

4. 災害リハに関する事業

福祉避難所の概要説明及び意見交換会

鹿児島市災害時の情報伝達訓練

鹿児島JRATへの協力

【 管理の部 】

会員数管理

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作成

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会

令和6年度収支予算書

自；令和6年4月1日 至；令和7年3月31日

科 目	予算額	昨年度予算額	備 考
I 収入の部			
1 受取負担金			
士会負担金			
2 受取会費			
会費	425,900	408,600	¥100*4,259名 (PT2,558名・OT1,123・ST578)
3 事業収益			
委託事業収益	9,475,350	10,500,000	鹿児島市・鹿屋市地域リハ支援事業 県リハ専門職派遣事業 イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	250,000	600,000	訪問リハ・リーダー研修会各1回ずつ、ステップアップ研修会1回開催
4 雑収益			
受取利息	150	150	預金利息等
当期収入合計(A)	10,151,400	11,508,750	
前期繰越収支差額	7,348,509	8,968,141	
収入合計(B)	17,499,909	20,476,891	
II 支出の部			
1 事業費			
諸謝金	10,000,000	9,030,000	
報酬	500,000	300,000	日当等
会議費	100,000		
賃借料	300,000	400,000	家賃20,000/月 会場費
通信運搬費	250,000	280,000	電話・鹿銀FB、発送費
ソフトウェア	0	100,000	会計ソフト
消耗什器備品費	200,000	200,000	
印刷製本費	100,000	130,000	資料印刷代
消耗品費	150,000	130,000	
旅費交通費	300,000	300,000	
人件費	0	0	
事業委託費	1,500,000	1,500,000	鹿児島県理学療法士協会
委託費	500,000	500,000	リハケアそうぞう 等
負担金	200,000	200,000	災害時リハビリテーション推進協議会
渉外費	50,000	50,000	
福利厚生費	100,000	50,000	
什器備品費	200,000	100,000	
修繕費	100,000	100,000	HP管理更新料
光熱水費	30,000	30,000	
租税公課	80,000	100,000	市民税、県民税、収入印紙
支払手数料	200,000	200,000	振込手数料 かざんFB基本料金
支出合計	14,860,000	13,700,000	
3 予備費	2,639,909	5,276,891	
当期支出合計(C)	17,499,909	19,176,891	
次期繰越収支差額(B)-(C)	△ 7,348,509	△ 7,668,141	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	1,300,000	

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 公式LINEアカウントのお知らせ

広報部 福留史剛

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

『鹿児島県理学療法士協会公式LINEアカウント』を開設し、県士会が主催する学術研修会やイベント、関連するニュースなどの情報をHP上での掲載に加えて、公式LINE上でも配信しております。ぜひお友達登録をお願い致します。

※ LINEアプリを開き、ホーム画面 → 「友だち追加」 → 「QRコード」にて下記QRコードを読み取っていただくことで簡単に登録ができます。



《登録方法》



学術誌「理学療法かごしま」投稿論文募集のお知らせ

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

本協会が発刊中の学術誌（理学療法かごしま）は、初版掲載から2年が経過しました。当協会員及び査読委員の皆様のご尽力で継続発刊することができています。改めて、本誌の目的は、鹿児島県理学療法士協会の会誌として、理学療法の学術及び技能の情報公開の場を提供し、理学療法の発展に寄与することです。本誌が、我々協会会員の新たな知見を共有する場となり、臨床や学術活動に対して有益な情報提供の場となることを期待します。投稿・執筆規定につきましても協会ホームページにて公開中ですので、ご確認の上、ご投稿を検討して頂ければ幸いです。採択された論文は、随時オンラインにて公開してまいります。また、オンラインジャーナルの、J-STAGEにも公開しております。本誌は、認定理学療法士、専門理学療法士更新に必要な要件にも該当しておりますので、沢山の投稿をお待ちしております。何卒宜しくお願い致します。

理学療法かごしま編集部
部長 金谷親好

第37回 鹿児島県理学療法士学会 報告

第37回鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 神 田 勝 利
準備委員長 宇 都 良 大

第37回鹿児島県理学療法士学会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。関係各位の皆様方のご理解とご支援のもと、本学会が滞りなく修了（終了）しましたこと、準備委員長として心から感謝申し上げます。

本学会は、県学会初のハイブリッド学会とさせていただきました。昨年3月に神田学会長と行ったキックオフミーティングにて、今年はハイブリッドでいきたいと思いますという揺るぎない決意で動き出しました。大変好評であった、学会広報動画・ポスター・学会誌表紙は、準備委員がデザイン作成をしたものです。その甲斐もあり、現地参加、オンライン参加の皆様、理学療法学生、多数の方々にご参加いただきました（対面222名・WEB166名参加 合計：約388名）。本当にありがとうございました。

本学会テーマは「理学療法教育の今」でございました。卒前教育では、県内5つの養成校教員の方々にご登壇いただき、臨床実習教育現場について、リアルなお言葉をいただき、理学療法教育のあり方について考え、共有できた時間でありました。卒後教育においては、昨年度始まった新生涯学習システムについて、そして我々の進むべき道について、特別講演の「白石浩」先生のご講演をいただきました。私も含めて、理解度が進んだのではないのでしょうか。

口述・ポスター発表では、33演題が研究成果や臨床の知見を共有し、理学療法士のスキル向上に寄与することができたと考えています。皆さまの熱心な議論や発表に感謝いたします。加えて、卒後教育の一環として、登録理学療法士習得のための後期研修症例検討会も5演題のご発表をいただきました。活発な意見交換は、私たちの専門分野をさらに進化させるための大きな一歩となりました。新たなアイデアやアプローチを学び、実践する機会を提供していただいたことに感謝いたします。

また、田中まさし先生、宮地拓馬先生には、未来の理学療法、理学療法士への提言もいただけたと思っております。

さて、ご発表いただいた皆様、ご発表には続きがあるものと考えております。昨年度より発刊されました、学術誌「理学療法かごしま」があります。研究助成も始まっております。これらを大いにご活用くださり、次のステップをお踏みくだされば幸いです。

最後に重ねてではありますが、本学会の開催に携わってくださいました、スタッフの皆さまにも深く感謝申し上げます。お忙しい中、ご尽力いただき、スムーズな進行を実現していただきましたことに感謝いたします。本当に多くの皆様方にご支援ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

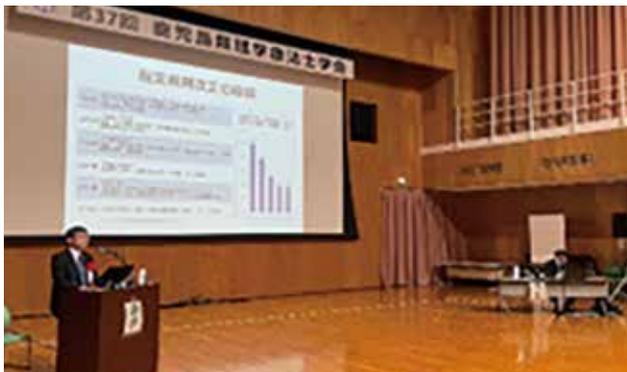
【学会長賞】 慣性センサーを用いた杖の有無による歩容変化の分析

加治木温泉病院 佐々木 翔 健 会員

【奨励賞】 僧帽筋下部線維の筋活動分析

～肩関節疾患患者が疼痛を伴わない方法の一案～

鹿児島中央整形外科スポーツクリニック 大神 幸平 会員



第37回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介

2024年2月23日に開催された、第37回鹿児島県理学療法士学会の受賞者が決定しました。表彰された先生方のコメントを以下に紹介します。

学会長受賞 加治木温泉病院 佐々木 翔 健 先生

演題名：慣性センサーを用いた杖の有無による歩容変化の分析

今回、学会長賞という栄誉ある賞に選出頂けたことを大変光栄に思います。学会長の神田勝利先生、会長の平名章二先生に深く感謝申し上げます。

慣性センサーを用いた歩行分析は、日々の臨床における疑問から生まれた臨床研究になります。モーションセンサーによる歩行分析については、古くよりその有用性が報告されておりますが、実際の臨床現場においてはほとんど普及していないのが現状です。その要因としては、計測がやや煩雑であり、解析にも専門的な知識を要するため、多忙な臨床現場においては、簡便性の高いTUG や10m歩行テストなどを使用する方が現実的であるためと考えます。

しかし、その中でも慣性センサーを用いる価値はどこにあるだろうか？と思索した結果、標準的な歩行評価のみでは杖の利用効果を検出しにくい症例に対して恩恵がある可能性を見出すことができました。

本研究を通して「日頃の些細な気づき」が新たな発見や興味深い知見に繋がるため、日々の理学療法診療を真摯に取り組むことが、有意義な研究の第一歩になると実感しました。

まだまだ課題点もある研究ではありますが、少しでも多くの方々に役立つ知見となるよう発展させていきたい所存です。最後になりましたが、研究にご協力いただいた患者さまをはじめ、多忙の中ご指導いただいた鹿児島大学の木山 准教授、加治木温泉病院リハセンタースタッフ一同の存在なくしては本演題の発表には至りませんでした。心からお礼申し上げます。周りの人達や環境に感謝しつつ、日々の業務に精進して参ります。

授賞式を2024年6月15日代議員総会前に実施しました。

授賞式様子

左側 佐々木 翔 健 先生



学会奨励賞受賞 鹿児島中央整形外科スポーツクリニック 大神幸平先生

演題名：僧帽筋下部線維の筋活動分析 ～肩関節疾患患者が疼痛を伴わない方法の一案～

この度は、学会奨励賞という名誉ある賞を頂き大変光栄に思います。学会長の神田勝利先生、会長の平名章二先生をはじめ、携わって頂いた先生方に感謝申し上げます。

上肢挙上に不可欠な僧帽筋下部線維は肩関節挙上 120° から活動が起こるとされますが、肩の疼痛でその動作自体困難なことを多く経験します。これを解決するために先行研究で様々な運動療法の提案されてきましたが、今回その一つを肩関節疾患患者様でも行えるように条件を変更し、それぞれの筋活動量を比較しました。

結果は、条件の違いで有意差を認めず、今研究での方法も僧帽筋下部線維の筋活動を促せることが示唆されました。

当院は、肩関節に症状を訴える患者様が多く来院されるので私たちが運動療法を提供する機会が多くあります。僧帽筋下部線維の運動療法は方法が限られていますが、理学療法士として患者様が無理なく安心して出来る方法を提供していきたいと考えています。学会発表では様々なご意見を頂けたので、今後の研究に取り入れてさらに深めることで、患者様の症状の改善に貢献出来るように精進して参ります。

最後になりましたが、本研究の測定や発表にご協力頂いたクリニックの従業員の方々並びに指導して下さいました医師や先輩方、リハビリテーション科のスタッフ皆様に改めて御礼申し上げます。



表彰式時写真

(左より、神田学会長、大神幸平先生、佐々木 翔健先生、平名会長)

第38回 鹿児島県理学療法士学会のお知らせ

第38回鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 湯 地 英 充
準備委員長 野 島 丈 史

この度、第38回鹿児島県理学療法士学会を2025年2月9日（日）ライカ南国ホールにて開催することとなりました。COVID-19感染症の流行を経て学会の開催方法もオンラインやハイブリッドなど多様化してきました。本学会では「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」という時代背景を考慮し目下、準備委員のみなんで楽しい企画を考えております。

またこの度、学会のテーマを「Physical therapist is fun ～進取の心～」とさせていただきました。「進取の心」とは、先人の意思を受け継ぎ、自ら困難な課題へ果敢に挑戦し、積極的に新しい物事に取り組んでいく気質や性格を指します。絶えず進歩している医療において我々理学療法士も歩みを止めることなく、自らの知見を広げ、進み続けることで患者さんを笑顔にすることが出来ます。それが患者さんの喜びとなり、わたくしたち理学療法士としての楽しさ・喜び

「Physical therapist is fun」となることを切に願うところです。

当日は現地で皆様と意見を交換し、楽しい（fun）学会の雰囲気を感じましょう。今後、県士会HPや公式LINE等で定期的には詳細をご案内致しますので確認のほどよろしくお願い致します。皆様のご参加と演題へのご登録をスタッフ一同心よりお待ちしております。

第38回 鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 湯 地 英 充

- ・ テ ー マ 「Physical therapist is fun ～進取の心～」
- ・ 会 期 2025年2月9日
- ・ 会 場 ライカ南国ホール
- ・ 一 般 演 題 ポスター演題、口述演題（募集期間は7月～8月を予定）
- ・ 学 会 長 湯 地 英 充（きりしま内科リハビリクリニック）
- ・ 準備委員長 野 島 丈 史（鹿児島大学病院）
- ・ お問い合わせ先 E-mail : kpta.38thac@gmail.com

当会が感謝状をいただきました

先日、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会第10回総会」にて当会に感謝状が贈呈されましたことをご報告いたします。

コロナ禍にて延期となった特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会が昨年度開催され、我々の専門性を発揮できるさらなる活動の場によりやくにして恵まれました。

これまでの先輩方の想いや取り組みを引継ぎ、士会を通じて活動を推進できたことありがたく思うと同時に、活動を評価されたことより、我々のさらなる活動の場が増えたことを非常にうれしく思います。

国民体育大会においては、前スポーツ支援委員会で現職能局理事（スポーツ事業担当）の大渡昭彦委員長をはじめ、視察や行政との調整、軟式野球・硬式野球のとりまとめをしてくださった牛ノ濱政喜先生・轟原与織先生他、携わってくださった先生方に感謝申し上げます。また全国障がい者スポーツ大会においては、長きにわたり県との会議・打ち合わせ、さまざまなサポートにご尽力くださった松田史代先生はじめ、さまざまな活動を通じて知識・技術を習得・ご教授くださった先生方に心より感謝申し上げます。資格審査・区分判定から当日のコンディショニング運営にて実際サポートしてくださった先生方にも感謝いたします。

スポーツ活動支援と学校保健活動については、行政との連携や各種団体との交流を通じて会員達が理学療法士として健康・予防に寄与することをアピールすることができ、今後の活動拡大により期待が持てるものとなりました。

最後になりますが、派遣に理解を示してくださった施設の方々にこの場を借りて御礼申し上げます。



学術誌「理学療法かごしま」優秀論文賞の受賞について

2022年当会学術誌「理学療法かごしま」が発刊されました（掲載論文は、J-stage内に掲載されています）。

今回、査読等による厳正な審査の結果、以下のとおりに優秀論文賞が選出されました。

原著論文：日常生活動作の肩甲上腕関節の安定性と肩関節周囲筋の筋張力の関係
鹿児島大学院保健学研究科 中島将武先生



先日6月15日に授賞式があり、コメントを下記にお知らせいたします。

この度は、第1回の理学療法かごしまにおいて、優秀論文賞を賜り、大変光栄に思います。これから長く続いていく理学療法かごしまの歴史の1ページ目に名を刻めたこと、誇りに感じます。編集委員長の金谷親好先生をはじめとする編集委員の先生方、会長の平名章二先生に深く御礼申し上げます。

腱板損傷を呈する症例では、肩甲上腕関節の安定性が低下し日常生活動作を障害することが報告されていますが、安定性を定量化し解釈することは難しく、そこに関わる残存筋の機能代償についても未解明な部分が多いのが現状だと考えています。肩甲上腕関節の安定性を定量化し、そのメカニズムを分析することが私の研究における大きなテーマです。今回の論文では、健常者を対象に上方剪断力を安定性の指標として用い、安定性と筋の関係性を日常生活動作に着目し分析しました。現在は、腱板損傷を模擬したモデルや肩甲上腕リズムを変化させたモデルを用い、肩関節の運動学を研究しております。自分たちの研究の結果が一人でも多くの肩関節疾患で悩んでいる患者様、その患者様を担当しているセラピストに届き、問題解決の一助になれば幸いです。

最後になりますが、本研究を行うにあたり御指導いただきました鹿児島大学の木山先生をはじめとするバイオメカニクス研究室の方々、研究に対して理解してくださっている勤務先の児玉整形外科クリニックのスタッフに感謝いたします。恵まれた環境で好きなことを研究できることを幸せに感じます。今後、より良い研究ができるよう日々精進します。この度は誠にありがとうございました。

左から

金谷旧編集委員会委員長、中島将武先生、平名会長



職能局 保険政策企画部より

職能局理事 福永裕樹
職能局理事 福田秀文
保険政策企画部長 宮雅紀

今回の鹿児島県理学療法士協会新組織体制に伴い、旧保険部で行っておりました業務につきまして、職能局保険政策企画部にて執り行うこととなりました。会員の皆様からのお問い合わせにつきましては、新体制での対応となりますので、よろしくお願いいたします。

お問合せ入力フォーム：<https://forms.gle/vmRqwaJRMwtv3Wsg9>



問い合わせ先：kpta.hoken@gmail.com

担当：宮（介護老人保健施設 アンダンテ伊集院）

令和6年度診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定情報につきましては、日本理学療法士協会ホームページよりご確認できます。

日本理学療法士協会 > 理学療法士の方向けトップページ > 職能活動 > 医療保険・介護保険・障害福祉サービス等 >

令和6年度診療報酬改定情報

https://www.japanpt.or.jp/pt/function/insurance/medical_2024/



令和6年度介護報酬改定情報

https://www.japanpt.or.jp/pt/function/insurance/care_2024/



令和6年度障害福祉サービス等報酬改定情報

https://www.japanpt.or.jp/pt/function/insurance/other_2024/



訪問リハビリテーション研修会ステップアップ研修の案内

研修会テーマ

「療法士の可能性と多様性

～ともに開く訪問リハと在宅の未来～」

宮田 昌司 先生

今回（一社）日本訪問リハビリテーション協会の宮田先生をお招きし、療法士の可能性と多様性というテーマで開催いたします。今後、訪問リハビリや地域活動に従事を考えている療法士、現在従事している療法士や他職種の方など未来を開拓するきっかけにつながれば幸いです。研修会終了後、講師の先生を交えての懇親会を予定しております。研修参加申し込みより入力をお願いいたします。

宮田先生と研修会後も第2roundで熱く語りましょう。懇親会場は鹿児島中央駅周辺を予定しています。

※駐車場の割引などはありませんので、近隣の駐車場をご利用ください。



講師の先生紹介

理学療法士（専門理学療法士・生活環境支援系 / 日本理学療法士協会）
臨床心理学修士

【職歴・学歴】

- 1986 社会医学技術学院 昼間部 理学療法学科 卒業
 - 同年 財団法人日産厚生会 玉川病院入職
 - 1998 医療法人財団新誠会 桜新町リハビリテーションクリニック
 - 2000 大正大学 文学部大学院 臨床心理学専攻 博士前期課程修了
 - 2010 医療法人社団輝生会 在宅リハビリテーションセンター成城 副センター長
 - 2015 医療法人社団輝生会 本部 教育研修局 部長（在宅部門担当）
 - 2019 医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 教育研修部長
 - 2022 株）リニエR取締役 / リニエ訪問看護ステーション横浜青葉
- 【役職等】
- 2012 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会 副会長
 - 2014 " 会長
 - 2024 " 相談役

日時

令和6年9月21日（土）
14:00～17:00

場所

Li-Ka 1920 5階 ルームB

住所：鹿児島市中央町19-40

研修方式

ハイブリット方式
（対面会場50名・オンライン100名）

参加費

協会員 2,000円
非会員及び他職種4,000円

申し込み



協会員用



非会員・他職種

※申し込み期間

8月5日（月）～8月19日（日）まで

研修会取得ポイント

理学療法士：区分1-9「介護保険サービスと理学療法」3ポイント

作業療法士：2ポイント

言語聴覚士：なし

主催

（一社）鹿児島県理学療法士協会・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会
鹿児島県訪問リハビリテーション研究会

問い合わせ先

PTリニエ訪問看護ステーション鹿児島070-1549-4576（金谷）
OT合同会社Ridicolo. 0996-20-1026（田之上）
STクオラリハビリテーション病院 0996-53-1704（黒木）

R6年度 新卒者オリエンテーションを開催しました

生涯学習部担当理事 生 駒 成 亨
部長 横 山 尚 宏

4月21日にハイブリッド形式にて新卒者オリエンテーションを開催しました。会場65名、オンライン32名、合計97名の新人先生方に参加いただきました。

オリエンテーションは、会長のあいさつにはじまり、施設・病院等で働き始めるうえで大切な「理学療法と倫理」。これから理学療法士として働いていく上で職域の問題や診療報酬関係が必要となってくる「理学療法連盟政策」では田中まさし先生にもオンデマンドで激励のお言葉をいただき、職域を守るための政治力を伝えていただきました。また日本理学療法士協会についての入会案内等について講義・説明を行いました。

先生方からは社会人としての自覚、理学療法の知識・技術を身につけ、早く患者様に信頼される理学療法士になりたいという熱い思いを感じることができました。1年目でもベテランでも「患者さんを元の生活に戻したい、そのためにも知識、技術をもっと身につけたい。」という思いに変わりはありません。県士会は先生方の思いに応えるべくサポートしていきますので、一緒に成長しましょう。



また、前期研修「A」を6月、7月、8月、9月に開催いたします。（詳細は県士会ホームページでご確認ください）前期研修は最短2年間で取得できますので、日程調整のうえ、受講いただきますようお願いいたします。

後期研修「A」「C」を7月、8月、9月頃で開催を予定しています。（こちらにつきましても詳細は県士会ホームページに掲載予定です）後期研修は最短3年間で取得できます。「C」に関して、今年度は県内で活躍されている各分野（運動器、神経系、内部障害、地域）の女性理学療法士の先生方に登壇していただき、実技をふまえた研修を予定しています。後期研修を受講予定の先生方は日程調整のうえ、ご参加ください。

新人教育プログラム研修会は、日本理学療法士協会全国共通の資料で講義を行っています。（eラーニングでも受講可能です。参加が難しい方はぜひそちらを検討下さい。詳しくは日本理学療法士協会HPをご参照ください。）履修確認は、日本理学療法士協会マイページより、確認できます。

研修会報告（専門領域 小児）

専門領域研究部理事 岩 森 俊
部長 戸 田 博之
小児系研修会担当 竹 田 孝 幸

令和6年2月4日（日）9時より、鹿児島医療福祉専門学校2階新大教室にて開催致しました。内容は、臨床に役立つ小児発達評価と理学療法（中枢神経疾患）をテーマに、小児中枢神経疾患を中心にGMFMやGMFCSなど特有の評価方法の解説、理論的背景、理学療法、発達支援についておこないました。今回は、症例も提示しながら実際の取組みについても行いました。当日は10名の参加でした。小児分野のリハビリテーションに地域で関わる機会が増えてきている現状から、小児分野に少数ながら関わっておられる方もご参加お待ちしております。

今後は、顔の見える講習スタイルや日頃の症例についてディスカッションできるような双方向なスタイルなど、よりよいネットワーク作りと講習会の開催としていきたいと考えております。つきましては小児系研修会の運営に関わりたい方がいらっしゃいましたら、reha.syounikei@fukuda-hos.org までご連絡ください！

また来年度企画に関しまして、ご意見やご要望等がございましたらお聞かせ下さい。



研修会報告（専門領域 トピックス研修会）

専門領域研究部理事 岩 森 俊
部長 西 洋 樹
部長 戸 田 博 之

令和5年度の専門領域研究部トピックス研修会を下記の概要で開催いたしました。

日 時：2024年2月18日（日）9:00～12:10

場 所：神村学園専修学校

テーマ：理学療法評価ブラッシュアップ

講 師：寺 師 拓 斗 先生

徒手筋力テスト（MMT）のテキスト「新・徒手筋力検査法」は現在第10版になっています。会員の皆様が学んできたのは第何版でしょうか？

研修ではMMTの改訂項目についての話に加え、ハンドヘルドダイナモメーターの使用、関節可動域テストの改訂項目についても触れ、講義・実技を行いました。学生時代に学んだ知識・技術が更新されていることを知り、実習指導や日々の業務をより良いものにするためには、常に理学療法士としてブラッシュアップすることが大切であることに、改めて気がつく貴重な機会となりました。また、対面で少人数という研修の特性を活かし、日々の臨床の疑問・悩みを意見交換する場もあり、職場を超えた交流を通じて自身の日々の仕事を省みることができました。

次年度もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っております。会員の皆様引き続きよろしくお願いたします。



研修会報告（専門領域 運動器系研修会）

専門領域研究部理事 岩 森 俊
部長 西 洋 樹

令和6年度第1回目の運動器系研修会を下記の概要で開催いたしました。

日 時：令和6年6月9日（土）9:00～12:10

場 所：今村総合病院スポーツ整形外科ハピリセンター

テーマ：臨床推論と腰部に対する徒手理学療法（基本編）

講 師：白 尾 泰 宏 先生

毎回好評を頂いている白尾先生の実技研修を開催致しました。

今回は、腰部疾患（特に腰痛）に対する理学療法において、クリニカルリーズニングに基づき障害・疼痛要因の推察を行い、治療選択のち実施し、効果判定まで行い治療を再構築するといった、临床上の一連の流れをまとめていただきました。標準的な評価・治療法から一步踏み込んだ解釈や、陥りやすいピットフォールを随所に盛り込んで頂きましたので、普段の臨床に大変落とし込みやすい内容でした。

毎回内容を刷新して頂いていますので、初めて受講された先生方はもちろん、毎回の研修に参加されている先生方におかれましても学びの多い機会であったかと思えます。

今回もそのご期待から、20名の定員枠に対し応募開始初日で満席となりました。キャンセル枠が生じたので期日前に再募集も致しましたが、残念ながら受講が叶わなかった先生方も多くおられるかと思えます。12月に再度、白尾先生に講師をご依頼する予定となっております。2～3か月前までにはHPやLINE等で案内を致しますので、ご確認頂き奮ってご参加ください。

なお、7月以降の専門領域研修部研修会につきましては、日本理学療法士協会マイページからお申し込み頂くこととなりました。研修会案内の際にも記載いたしますが、お間違いの無いようご承知ください。



学術部研修会報告

学術研修部理事 白尾麻美
部長 福森愛美

○ 腰痛に対する理学療法

講師：成田 崇矢先生（桐蔭横浜大学）

会場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

日時：2024年1月28日(日) 9:30～16:40 ・参加者：129名

1月28日に令和5年度第5回学術部研修会を上記の通り開催いたしました。休日にも関わらず、WEB・現地ともに多数の会員にご参加いただきまして、ありがとうございました。

令和5年度最後の学術部研修会となった今回は、理学療法士として臨床で直面することの多い腰痛をテーマに桐蔭横浜大学の成田崇矢先生にご講演いただきました。どのようなメカニズムで痛みが発生するのか理論的に解説いただき、それぞれの痛みに対する具体的なアプローチ方法を教えていただきました。実際にどのように問診を進めていくのか、治療場面の様子や現場での患者様の声など、動画を用いてご示唆いただき、すぐにでも臨床に応用できる実践的な内容でした。対面開催ではそれぞれペアとなり実技を交えながらアプローチ方法を体感することができ、参加者からの積極的な質問でも大いに盛り上がり、大変有意義な研修会となりました。

令和6年度学術部研修会は、全て対面形式にて実施予定です。

テーマ	日時	講師	カリキュラムコード	セミナー番号
整形外科医と理学療法士が共有したい 肩関節の知識	6月30日(日) 10:00-13:00	袴 博則 先生 (医師、天陽会中央クリニック)	51 活動体としての人間理解: 関節運動	125626
内部障害の理学療法	7月21日(日) 9:30-16:40	大重 匡 先生 (鹿児島大学医学部) 坂元 将也 先生 (谷山生協クリニック) 宇都 良大 先生 (きくち内科・糖尿病クリニック)	105 循環器疾患の理学療法	125785
がん理学療法 一退院支援 在宅支援、 就労支援のための基本的な関わり方*	10月5日(土) 13:00-16:10 10月6日(日) 9:30-12:40	高倉 保幸 先生 (埼玉医科大学)	165 地域医療と理学療法	125786
胸郭運動システムの基礎	12月1日(日) 9:30-12:40	柿崎 隆泰 先生 (文京学院大学大学院)	57 機能と構造、身体機能の低下	125787
下肢装具を用いた 脳卒中片麻痺者の歩行能力再建	2025年 2月2日(日) 10:00-17:00	阿部 浩明 先生 (福島県立医科大学)	148 装具	125788

*2日間の参加でポイントを付与いたします。ご注意ください。

講師の許可が得られた場合、研修会開催後にオンデマンド開催します（参加費500円）。生涯学習ポイント（点数）の付与には、動画キーワードのGoogleフォーム送信が必要です。キーワード送信から1か月後に付与されます。研修会申込のみでは、対象となりませんのでご注意ください。詳細については各研修会終了後、ホームページのお知らせ欄にて告知します。

※オンデマンドでの受講は以下の条件のいずれかを満たす会員とする。

- ① 居住地が鹿児島市外（または離島）である。
- ② 育児・介護等により研修会への参加が困難である。
- ③ 会員自身の身体的事情（怪我・病気等）により会場への移動が困難である。

学術部研修会報告

学術研修部担当理事 白 尾 麻 美
部長 福 森 愛 美

○ 整形外科医と理学療法士が共有したい肩関節の知識

講 師：梶 博 則 先生（天陽会中央病院）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

日 時：2024年6月30日（日） 10:00～13:00

現地参加者：61名

6月30日に令和6年度第1回学術研修部研修会を上記の通り開催いたしました。休日にも関わらず、多数の会員にご参加をいただきありがとうございました。

今回の研修会では、天陽会中央病院の梶博則先生に整形外科医と理学療法士が共有したい肩関節の知識というテーマでご講義いただきました。講義内容は、現場の理学療法士からの肩関節に関する疑問に沿って、実際の関節鏡手術の動画や図解を用いた解説をいただきました。先生のご講義中、医師と理学療法士「お互いプロでありたい」というお言葉がありました。私たちの分野に信頼を置いていただき、よりよい理学療法を提供できるよう研鑽を続けることが必要と感じました。

さて、今年度の学術研修部研修会は現地開催およびオンデマンド配信での開催を予定しております。鹿児島市外在住の方や子育て、病気療養中の方など現地参加が難しい方は、オンデマンド配信をご活用ください。オンデマンド配信は現地研修会開催後に鹿児島県士会HPにてご案内をいたします。なお、資料配布やオンデマンド配信は、講義内容や講師の都合上、提供できない場合がございますのでご了承ください。申込、受付はJPTAアプリマイページからお願いいたします。



第3回鹿児島地区研修会報告

鹿児島地区・奄美地区担当理事 東 幸 太
鹿児島地区・奄美地区担当理事 岩 森 俊
鹿児島地区長 久 米 康 隆

第3回鹿児島地区研修会を令和6年2月10日（土）に鹿児島医療福祉専門学校で対面研修にて開催いたしました。

今回、米盛病院リハビリテーション課の純浦 葵先生（運動器認定理学療法士）に「FIMの評価方法と知っておきたい基礎知識」のテーマで講師を担当していただきました。

FIMは、回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価としても知られており、特徴や採点方法を正しく理解し多職種で情報の共有を行った上での評価が必要になります。

今回の研修では、運動項目と認知項目における評価尺度と採点基準について説明いただきました。また、グループワークでは実際に模擬症例のFIMを話し合いながら採点・発表を行い、評価のポイントについて解説を頂きました。

グループワークでは、参加者同士や講師を交えての積極的な意見交換もみられ、和気あいあいとした和やかな雰囲気で行われました。

今後も会員の皆様の臨床に活かせる研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくご願ひ致します。

今回の第3回鹿児島地区研修会参加者は20名でした。



奄美地区研修会報告

鹿児島地区・奄美地区担当理事 東 幸太
鹿児島地区・奄美地区担当理事 岩 森 俊
奄美地区長 當 田 直 哉

2023年度の奄美地区研修会を令和6年3月2日に、対面式開催（一部離島会員のみWeb視聴）という形で行わせていただきました。講師は、厚地リハビリテーション病院の 東 幸太 先生（脳卒中認定理学療法士）に『脳卒中患者のADL場面への介入』というテーマで講義と実技をしていただきました。今までCOVID-19の影響にて開催方法が制限されておりましたが、対面での研修会を開催することが出来ました。参加者数は20名程でしたが、COVID-19からの転換の一步となる研修会となりました。

今回の研修会では平名 会長による『協会組織編成』、白尾 副会長には『登録理学療法士制度』についてお話をしていただき今後の鹿児島県理学療法士協会の流れや生涯学習について理解することができました。

研修会は、脳卒中認定理学療法士の東 幸太 先生により神経生理学や運動学をベースに難しい言葉をあえて使わず、脳卒中片麻痺患者に対する日常生活動作への介入について講義・実技を交え開催しました。内容についてもより分かりやすい言葉で親しみやすかったのではないかと思います。

また、実技においては足関節から膝関節、股関節、体幹への繋がりに関して実際に実技アプローチを提示して頂きました。

参加者からの質問も多く、実技中は講師の東先生はひっぱりだこで、皆さん積極的に技術を習得しようとされていたと思います。

また、参加者のほとんどの方が懇親会にも参加して下さり、東先生・平名会長・白尾副会長も含め、まじめな話やくだけた話など、友人のように意見を交わすことが出来たと思います。黒糖焼酎や島唄、六調などもあり大いに盛り上がった夜となりました。



奄美地区では協会離れが少なからずあります。

我々、理学療法士の質の担保・向上のために協会はあるものと考えております。今後も奄美地区の会員の皆様に何が提供できるか、より会員である利点は何か？を模索して、より良い研修会や症例検討会を企画していければと考えております。今後も、奄美地区協会運営にご理解ご協力お願いいたします。

令和6年第1回 始良地区研修会の開催報告

始良担当理事 神 田 勝 利
始良地区長 福 榮 竜 也

日 時：令和6年5月24日（金）19:00～21:00 Web開催（ZOOM）

参加者：70人

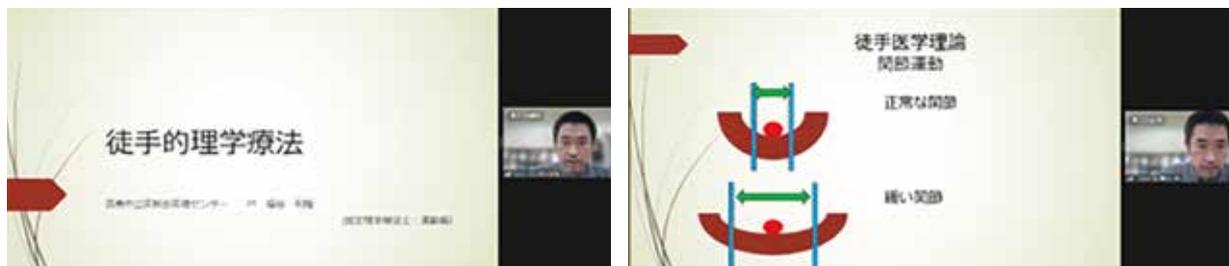
テーマ：『徒手の理学療法学の基本』

講 師：霧島市立医師会医療センター 福谷 和隆先生

カリキュラムコード：50 基本的な理学療法治療技術

令和6年度始良地区第1回の研修会をオンラインにて開催いたしました。講師は霧島市立医師会医療センターの福谷和隆先生でした。研修内容としては「徒手の理学療法の基本」をテーマとして、クリニカルリーズニングや徒手の理学療法の基本知識・触診、治療戦略について、ご自身の臨床経験談を踏まえつつご講義いただきました。オンラインという環境下ではありましたが、動画やアニメーションを駆使され、大変分かりやすく丁寧に講義いただきました。平日の研修会ではありましたが、聴講者は始良地区以外の会員も含め、70名の皆様にご参加いただきました。活発な質疑応答もあり、有意義な時間であったと考えます。

今後の始良地区の活動としまして、7月に第2回始良地区研修会を行います。今回の内容を踏まえ、ハンズオンでの徒手療法をテーマに開催いたします。始良地区では今後も魅力的な研修会を企画してまいります。



私と私の職場

医療法人厚生会 立神リハビリテーション温泉病院

東 輝 明

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。鹿児島県理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今回は私の職場である「医療法人厚生会立神リハビリテーション温泉病院」を紹介させていただきます。

当法人は小原病院を中心とした医療法人厚生会と社会福祉法人厚生福祉会からなる厚生会グループとして、枕崎市を中心とした南薩地域の医療・介護・福祉に関わらせていただいています。地域にとってかけがえのない存在であり続けるために急性期、回復期、慢性期、療養、在宅まで安心して質の高い医療・リハビリテーションを提供できるよう努めています。

当院は、昭和57年に開院、近隣の火之神公園には枕崎のシンボルである立神岩があり、週末には多くのキャンプ客で賑わっています。病床数は医療療養病棟60床、介護医療院50床の計110床であり、介護医療院は鹿児島県内では当院が最初に開設しました。リハビリテーションスタッフは、PT 4名、OT 1名、マッサージ師 1名、リハビリ助手 1名で入院・外来リハを提供しています。当院は法人内での慢性期リハビリを担っており、在宅復帰から、生活の場、終末期への対応と疾患・状態に合わせて多職種と連携し進めています。リハビリはもちろんですがNST・褥創・呼吸・認知症などチームアプローチに重点を置き、リハビリスタッフが積極的に介入する事が当院の特徴です。呼吸療法認定士の資格を持つPTを中心に行う呼吸ケアチームでは肺炎など一定の予防効果が得られています。地域貢献活動として、スポーツ障がい予防教室・枕崎市主催の一般介護予防事業への講師派遣、出張健康教室などを行っています。

私は、介護医療院のリハビリに開設から6年間従事しています。生活の場として長期間入所者と関わることで、「いかに入所者がその人らしく生活できるようになるか」という事を常に考え介入しています。お一人おひとりにしっかり向き合い、何が問題で何が必要なのかを引き出していく。そして多職種でどう対応していくかという事を考えています。今後も「よりよき生を求めて」の病院理念のもと、地域の皆様を支える病院として良質なリハビリテーションを提供できるようにスタッフ一同精進して参ります。

入梅のみぎり、会員の皆様のご健勝とさらなるご活躍をお祈りいたします。



事務局だより

令和6年2月1日～令和6年7月5日現在受理分

ニュース

愛知No. 212・213 新潟No. 206・207 滋賀No. 224
山梨No. 163 兵庫No. 203 和歌山No. 101 広島No. 277
秋田No. 212

学術誌

理学療法ジャーナル 第58巻第2号
鹿児島県医師会報 第872号
理学療法 - 技術と研究 - 第52号
高知県理学療法 第30号
理学療法白書 2023
理学療法ジャーナル 第58巻第3号
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会鹿児島市大会報告書
鹿児島県医師会報 第873号
理学療法京都 No. 53
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会報告書
山口県理学療法士会創立50周年記念誌
令和5年度地域保健葬儀推進事業報告書
鹿児島県医師会報 第874号
岐阜県理学療法士会学術誌 第28号
理学療法ジャーナル 第58巻第4号
宮崎県理学療法士会 創立50周年記念誌
地域リハビリテーション体制推進のための研修事業報告書
四国理学療法士会学会誌 第45号
NO Limit Vol. 97
鹿児島県医師会報 第875号
秋田理学療法 第31巻第1号
熊本県理学療法士協会設立50周年記念誌
健康かごしま21
理学療法ジャーナル 第58巻第5号
福祉用具貸与事業者の支援のあり方に関する調査モデル
研究事業報告書
理学療法ジャーナル 第58巻第6号
鹿児島県医師会報 第876号
静岡理学療法ジャーナル 第47号
鹿児島県医師会報 第877号

<会員動向> (4/1/～6/15定期承認まで)

入会43件 県内異動46件 転入5件 転出12件
休会81件 復会11件 退会6件
会員動向に関する詳細は非公開とします。
会員数 2526名
会員所属施設数 469施設

役員行動録

2月4日 専門領域研究部研修会 (白尾)
6日 第13回鹿児島県歯科医師会 口腔機能管理推進協議会 (東條)
8日 POS連絡協議会総会 (平名・生駒・東條)
10日 鹿児島地区研修会 (白尾)
13日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
14日 理事会 (平名・生駒・白尾・東條)
16日 県保健体育課意見交換 (平名・白尾・東條)
県高齢者保健福祉計画作成委員会 (平名)
20日 おいどんカップ打ち合わせ (東條)
22日 神村学園専修学校士会入会促進説明会 (平名)
23日 県学会 (平名・生駒・白尾・東條)
24日 県リハビリテーションフェスティバル (平名・白尾)
25日 県リハビリテーションフェスティバル (平名・生駒・白尾)
29日 鹿児島医療技術専門学校士会入会促進説明会 (平名)

3月3日 奄美地区研修会 (平名・白尾)
5日 鹿児島医療福祉専門学校士会入会促進説明会 (平名)
6日 公益事業部公開講座 (白尾)
7日 田中まさし後援会会議 (平名)
8日 県高野連打ち合わせ・県医療関係団体連携会 (平名)
11日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
鹿児島第一医療リハビリ専門学校士会入会説明会
理事会 (平名・生駒・白尾・東條)
13日 東リハフェス準備委員会 (平名)
14日 鹿屋市事業打ち合わせ (東條)
15日 代議員総会 (平名・生駒・白尾・東條)
16日 九州士会長会議 (平名・生駒・白尾・東條)
18日 県リハフェス準備委員会 (平名)
21日 県国体・全スポ表彰式 (平名)
22日 快護生活フェスティバル (平名・白尾)
25日 鹿児島市地域リハ支援事業打ち合わせ (東條)
29日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
4月5日 組織等支援検討委員会オブザーバー参加 (東條)
6日 JPTA理事会傍聴 (平名・生駒・白尾)
7日 拡大組織運営協議会 (傍聴) (平名・生駒・白尾)
9日 3役会 (平名・白尾・東條)
田中まさし後援会会議 (平名)
10日 理事会 (平名・生駒・白尾・東條)
11日 鹿児島県歯科医師会 口腔機能管理推進協議会 (東條)
17日 東京海上保険(損害保険)打合せ (東條)
19日 規約審議委員会 (生駒・東條)
20日 編集部会議 (東條)
21日 新卒者オリエンテーション (平名・白尾)
22日 鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成
連絡行議会 (平名・生駒・東條)
職能局会議 (白尾)
23日 学術局会議 (白尾)
25日 鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡
協議会監査対応 (東條)
26日 県高次脳機能研究会 (平名・生駒・白尾)
5月1日 県議懇談会 (平名)
7日 県議野球大会サポート打ち合わせ (白尾)
9日 編集部会議 (東條)
10日 監査対応 (東條)
12日 JPTA理事会傍聴 (平名・生駒・白尾)
13日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
14日 看護の日イベント (白尾)
16日 理事部長会 (平名・生駒・白尾・東條)
22日 鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会
監査対応 (東條)
29日 鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会
理事会 (平名・生駒・東條)
県連盟会議 (平名)
30日 女性県議との意見交換会 (白尾)
31日 代議員研修会打ち合わせ (白尾)
6月1日 JPTA祝賀会 (平名・生駒)
2日 JPTA総会 (平名・生駒・東條)
5日 ティーボール大会打ち合わせ (白尾)
8日 スポーツドクター協議会研修会 (白尾)、
沖縄士会50周年祝賀会 (平名)
3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
10日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
12日 理事会 (平名・生駒・白尾・東條)
15日 代議員研修会・総会 (平名・生駒・白尾・東條)
18日 田中まさし後援会会議 (平名)
19日 県生き生き推進課打ち合わせ (平名)
21日 リーダー塾 (平名)
23日 前期研修A (白尾)
26日 エイジフレンドリー補助金活用セミナー (白尾)
27日 POS連絡協議会総会 (平名・生駒・東條)
28日 コープ鹿児島学習会 (白尾)
30日 学術部研修会 (白尾)

編集後記

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか？私は夏の暑さに負けないように、食事をしっかり摂るように心掛けています。今後も厳しい暑さが続きますので、健康に気を付けてお過ごしください。

広報誌に関してご意見等ございましたら、広報部まで連絡をお願いいたします。

rihabiri@gyokusyukai.com

広報部 丸山元大